

第47回上小圏域障がい者自立支援協議会

目次

自立支援協議会設置・運営要綱

① 医療的ケア児等支援連携推進委員会

② 生活支援専門部会

③ 就労支援専門部会

④ 地域生活移行専門部会

⑤ 権利擁護委員会

⑥ 療育・発達専門部会

⑦ 人材育成専門部会

⑧ 運営委員会

└ 緊急ショートステイ運営委員会／相談支援体制整備検討委員会

└ 障がい者地域包括ケアシステム検討委員会

上小圏域障がい者自立支援協議会設置・運営要綱

第1 運営協議会の設置

上小圏域に居住する障がいのある方の福祉・医療・保健・就労・教育等に関する各種サービスの総合的な調整及び推進を図り、相談支援事業をはじめとした上小圏域全体でのシステムづくりに関する主導的役割を担う協議の場として「上小圏域障がい者自立支援協議会」（以下、「自立支援協議会」という。）を設置する。

第2 自立支援協議会の役割

自立支援協議会は、障害者総合支援法の趣旨に則り、圏域内各市町村の能動的な関わりを基本として、次の事項を協議する。

- (1) 上小圏域障害者総合支援センターの活動方針の調整
- (2) 「上小地域障害者自立生活支援センター運營業務要綱並びに、障害者相談支援員設置業務要領」に掲げる業務の調整及び実施状況の把握
- (3) 市町村から委託を受けた相談支援事業の実施計画及び運営評価
- (4) 市町村及び上小圏域の障害福祉計画
- (5) 相談支援専門員等の活動及び上小圏域の相談支援体制の整備
- (6) 上小圏域の社会資源の充実や福祉制度の改善、処遇困難事例への対応
- (7) 長野県自立支援協議会への提案
- (8) 障がい者の権利擁護を推進し、紛争解決に努める障害者差別解消支援地域協議会（代表者会議）の機能を併せ持つ
- (9) その他必要な事項

第3 構成

自立支援協議会は、次の者を委員として構成する。

- (1) 圏域内各市町村の障がい福祉担当課長及び子ども家庭支援担当課長
- (2) 関係団体の代表者
- (3) 上小圏域内市町村教育長の代表及び校長会代表
- (4) 上田保健福祉事務所福祉課長
- (5) 上田保健福祉事務所健康づくり支援課長
- (6) 上小圏域基幹相談支援センター所長及び上小地域就業・生活支援センター長
- (7) 長野労働局上田公共職業安定所 所長
- (8) 学識経験を有する者
- (9) 上小圏域の保健・福祉・医療・教育・就労に関心を持つ者で自立支援協議会が指名した者

2 委員のうち1人を会長とする。会長は委員の互選とし、会長は自立支援協議会を代表し、その業務を総理する。副会長は、上小圏域内の市町村福祉課長が務める。副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは又は会長が欠けたときは、その職務を代行する。

3 会長職を含め委員の任期は2年とする。ただし、再任は妨げない。また、任期途中で交代した委員の任期は前任者の残任期間とする。

第4 自立支援協議会の開催

自立支援協議会は、委員の求めに応じ会長が召集する。

2 自立支援協議会の議長は会長が務める。会長が欠席の際は、副会長が務める。

第5 運営委員会

自立支援協議会の企画・運営に関する協議を行うため、運営委員会を設置する。

- 2 運営委員会は、権利擁護委員会（実務者会議）の機能を併せ持つ。
- 3 圏域障害福祉計画の推進に伴うプロジェクト委員会を設置し、その機能を併せ持つことが出来る。
- 4 運営委員は、次の者で構成する。
 - (1) 上田保健福祉事務所福祉課 担当係長
 - (2) 各専門部会の部会長（圏域内市町村の障がい福祉担当係長）
 - (3) 障害者総合支援センター所長及び就業・生活支援センター長
 - (4) その他運営委員の協議で指定する人

第6 専門部会

上小圏域内の障がい児者の支援に関する細部の専門事項について協議するために、専門部会を置くことができる。

- 2 各専門部会長は、運営委員会において選出された者
- 3 各専門部会の委員は、運営委員と協議の上、部会長が指名する。
- 4 専門部会は部会長が招集する。

第7 ワーキングチーム

自立支援協議会には、障がい福祉の推進のため、必要に応じて調査・研究を行うワーキングチームを置くことができる。

第8 事務局

事務局は、上小圏域障害者総合支援センターに置く。

2 事務局員

上小圏域障がい者自立支援協議会の事務局担当者を、上小圏域障害者総合支援センター内に配置する。なお、上小圏域障害者総合支援センターの職員は事務局員との連携を図り、部会運営に努める。

第9 その他

この要綱に定めのない事項については別に定める。

附 則

この要綱は、平成17年1月21日から適用する。

附 則

この要綱は、平成19年3月26日から適用する。

附 則

この要綱は、平成21年5月29日から適用する。

附 則

この要綱は、平成23年3月21日から適用する。

附 則

この要綱は、平成28年4月1日から適用する。

附 則

この要綱は、平成29年10月31日から適用する。

附 則

この要綱は、平成30年5月28日から適用する。

附 則

この要綱は、令和4年10月26日から適用する。

附 則

<p>第4回 2月21日</p>	<p>① 令和4年度医療的ケア児等支援連携推進委員会年度報告のまとめ ② 医療的ケア児等総合支援事業の実践報告（ごきげんスペースうえだ） ③ 医療的ケア児等コーディネーター活動報告 ④ 令和5年度医療的ケア児等総合支援事業について ⑤ 上小圏域第7期障害福祉計画に向けて医療的ケア児者の課題整理 ⑥ 『おうち生活応援パンフレット』の変更について</p> <p style="text-align: right;">場所：上田市ふれあい福祉センター</p>
----------------------	--

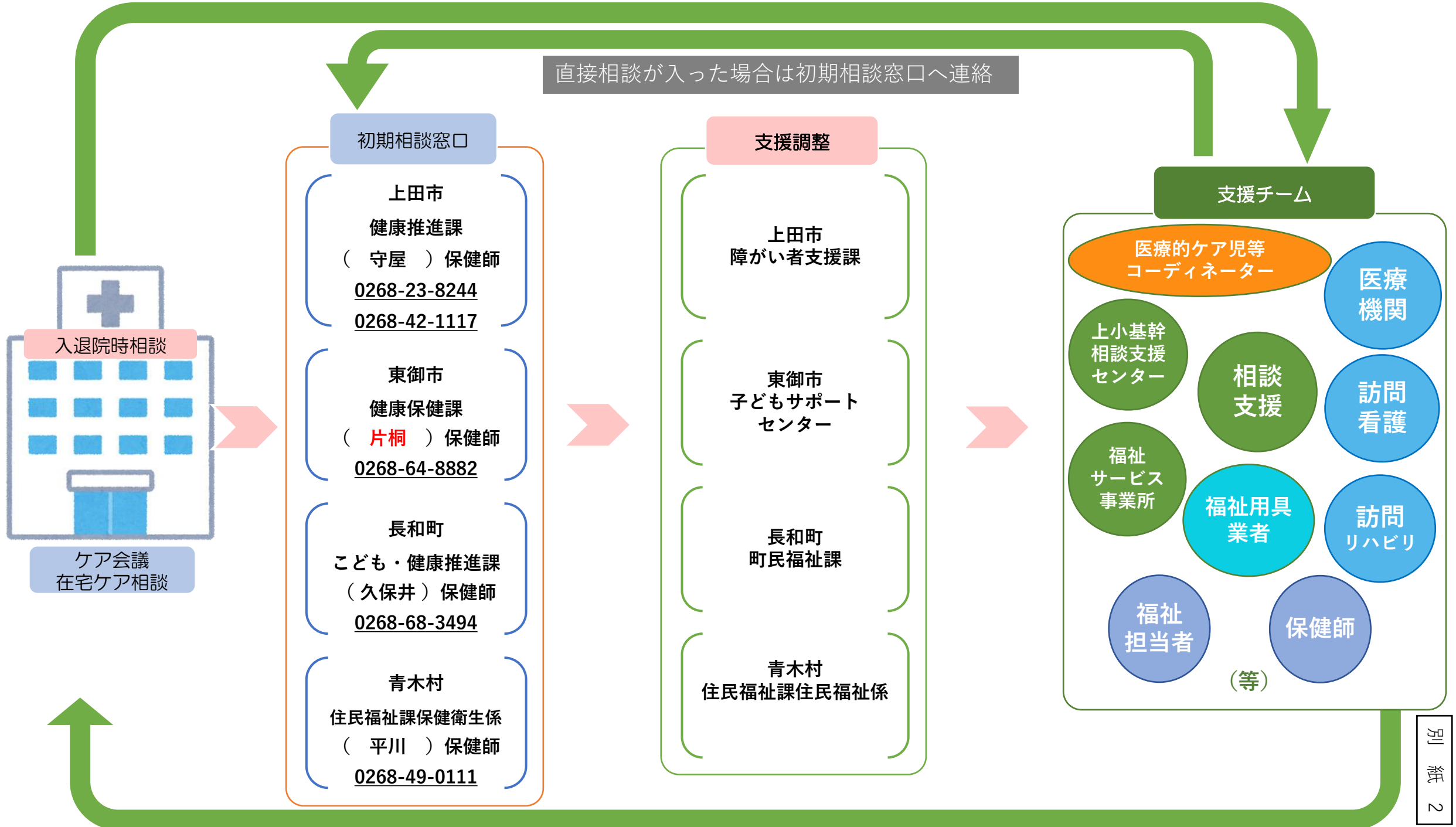
<p>考察 ・ 次年度に 向けて</p>	<p>① 医療的ケア児者の避難行動要支援者名簿と避難計画に向けた情報提供を実施し、圏域の医療的ケア児の名簿更新を実施した。 ② 医療的ケア児の発達支援（ICFに基づく支援）の圏域研修会（一部県内受講者あり）を、委員会と協働して、ごきげんスペース研修会の開催が出来た。 ③ 圏域内の人材育成については、別紙（ごきげんスペース）での実践報告（別紙） ④ 次期障害福祉計画作成に向けて、現在の圏域課題の検討を実施し、計画に反映したいと考えている</p>
----------------------------------	--

<p>参加機関</p>	医療関係機関	病院(医師・MSW・OT・PT・ST等) 訪問看護ステーション
	福祉事業所	医療的ケア児者への通所・短期入所事業所 訪問入浴サービス事業所 居宅介護支援事業所 相談支援事業所（重症心身障がい児者担当者）
	行政機関	長野県上田保健福祉事務所福祉課 長野県上田保健福祉事務所健康づくり支援課 市町村障害福祉児童担当者
	行政機関(保健師)	市町村健康推進課保健師
	部会長	上田市障がい者支援課
	事務局	上小圏域基幹相談支援センター、医療的ケア児等コーディネーター

医ケア児等支援連携推進委員会アンケート集約結果報告

○各機関において課題となっていること（事前アンケート）

	課 題	本年度のまとめ
短期入所施設	<ul style="list-style-type: none"> ・看護師入る名（常勤は週休二日）その内1名が夜勤可能なので短期入所は1泊2日が限度。希望利用日に沿えない場合がある。 ・施設入所者の中で体調不良者、急変者が発生した場脚、基本看護師が対応に入ることや、夜勤看護師本人、同居家族の感染症の罹患の理由で短期入所、生活介護ともに施設側の都合でキャンセルさせていただくことがある。 ・逆に、短期入所予定当日、夜勤者が出勤してから利用者側からキャンセルが入ることがあり、看護師の勤務体制に影響が出てしまうことがある。 ・夜勤対応看護師の健康上の問題・人事異動・退職等。また、施設入所者の高齢に伴う障がいの重度化等様々な理由により対応の継続が困難になる場合も考えられる。 	引き続き、情報提供と課題提供を頂く予定
訪問看護	<ul style="list-style-type: none"> ・他の事業所の主導で座位保持装置が作製され、完成間近の微調整の時に母親から評価を依頼されたことがあった為、用具の必要性や用具自体の情報などが事前に共有されると有難い。作成後のアフターフォローも連携を取りやすくなるとよい。 ・ご家族が関係各所へ連絡相談するのが大変。窓口が1つにならないか。 ・医療機関からの情報が受けにくく家族を通してのことが多い。その方法で十分なこともあればほしい情報を得られないこともある。NSを通して出ないと情報が得にくい印象。 ・年齢が上がるにつれ関わる機関も、学校、福祉系と多岐にわたり情報共有が難しくなると感じる。 	情報の支援チームの情報共有の仕組みや、情報提供の課題については、県の協議会にも課題提案して行きたいと思えます。
訪問看護	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい児が使える福祉用具について、レンタル出来たり、成長とともに試せるサービスがあるとよい ・訪問入浴サービス以外で障がい児が利用できる入浴施設。 	地域生活支援事業のレンタル制度化課題 入浴施設は、圏域課題
医療機関	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校、高校卒業後、寝たきり患者さんの自宅以外の受け入れ先選択肢が少ない。 	実態把握とニーズ調査 (次年度検討)
医療機関	<ul style="list-style-type: none"> ・介護者がコロナ感染等体調不良時のバックアップ体制 ・当院の対応も検討必要だが、入院時の付き添いが家族だけでなく事業所の方でも対応可能か。 	現行では、重度訪問介護（大人）以外は対象外。課題整理と次年度検討
相談支援	<ul style="list-style-type: none"> ・主介護者がコロナ感染した時の、ご本人への支援体制の不足 ・保護者の就労に伴う、医療的ケア児の預け先の不足（就学前児） 	今後の課題として検討



医療的ケア児等コーディネーター活動報告

【1】上小圏域医療的ケア児等コーディネーターの配置について

令和3年4月より上小圏域に2名の医療的ケア児等コーディネーターが配置され、令和4年4月より上小圏域医療的ケア児等総合支援事業の実施により、1名増えて3名の配置となる。

【2】上小圏域内の医療的ケア児(18歳未満)の状況 R4.10現在

・市町村別の人数と年齢

市町村/年齢	0～3歳	4～6歳	7～12歳	13歳～17歳	人数合計
上田市	10	5	6	4	25
東御市	1	3	1	1	6
長和町	1			1	2
青木村		1	1		2
年齢合計	12	9	8	6	35

【3】介入ケース

※相談支援に移行したケースは除いています。

No	年齢	医療的ケア	経過
1	高校生	喀痰吸引・経管栄養	医療障害児施設に入所中。在宅生活に向けて保護者、関係者との会議に参加。
2	高校生	人工呼吸器・経管栄養・喀痰吸引	入院中。退院後の生活の場について、保護者、医療機関、教育機関、行政とともに検討中。社会資源の紹介、見学同行。関係者会議、ケア会議の実施。
3	中学生	人工呼吸器・喀痰吸引	R5.3月に他圏域より転入予定。 転入に伴い、転入元の行政、相談支援専門員、転入後の行政と移行について調整中。
4	小学生	人工呼吸器・経管栄養・喀痰吸引	R4.12月に他県より転入。転入前より保護者、関係機関(行政、医療、機関、相談支援専門員)と転入後の生活について検討、調整。支援体制の構築。
5	未就学児	重心児	就学に向けて両親、関係者(福祉事業所、行政、教育、医療機関)と検討。学校見学同行、連絡調整。相談支援専門員と一緒に関わる。
6	未就学児	胃ろう	圏域外私立保育園在籍。療育コーディネーターとともに状況確認、会議参加。
7	未就学児	重心児	相談支援専門員と一緒に関わる。 定期的な会議に参加。就学とともに一旦相談支援が終了となるため、その後のフォローとして関わる。

8	未就学児	胃ろう・気管切開・喀痰吸引	相談支援専門員と一緒に関わる。医療機関との連携、制度利用についての相談を受ける。
9	未就園児	経管栄養・喀痰吸引	在宅生活。保健師と定期訪問し状況確認。
10	未就園児	酸素療法	在宅生活。保健師と定期訪問し状況確認。盲学校の早期支援教室との連絡調整、見学同行、連携。
11	未就園児	導尿	保健師と定期訪問し状況確認。福祉サービス利用の調整、見学同行。
12	未就園児	喀痰吸引・経管栄養	在宅生活。保健師と定期訪問し状況確認

【4】その他、活動内容

① 医療的ケア児等支援連携推進委員会 事務局

- ・事務局として委員会運営
- ・医療的ケア児災害時に関わる聞き取り調査の実施

【5】課題

- ・主介護者がコロナに感染したときのご本人への支援体制の不足
- ・保護者の就労に伴う、医療的ケア児の預け先の不足

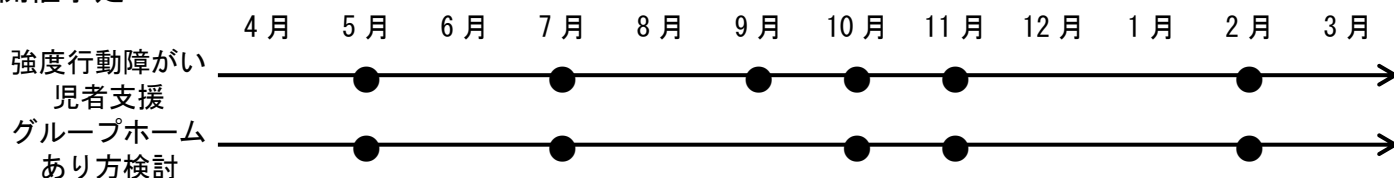
生活支援専門部会 年度報告

テーマ	<p>① 強度行動障がい児・者の生活支援について学習する場を提供するとともに事業所内、圏域内での支援体制を構築する。</p> <p>② 圏域内グループホームの実態調査に基づき、グループホームからの地域移行の促進に向けて課題の整理と今後の支援のあり方を検討する。</p>
-----	--

上小圏域第6期障害福祉計画 重点施策の該当項目

- 地域移行支援の推進と同時に、共同生活援助等の夜間支援体制の充実を図ります。
- 療育支援の充実とともに、強度行動障害児者のサービス提供事業所の体制整備に向け、協議の機会を作ります。

開催予定



<強度行動障がい児者支援グループ>

回/日付	内容/場所
第1回 5月10日	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の振り返り ・年間スケジュール作成 ・「強度行動障がい児・者支援者研修会」の企画 ・強度行動障がい児・者実態調査に向けての打ち合わせ →今年度も「強度行動障がい児・者支援者研修会」を実施することを確認する。 前半は上田養護学校からの事例報告、後半は受講生同士のグループワークを実施予定。 場所：オンライン
第2回 7月7日	<ul style="list-style-type: none"> ・「強度行動障がい児・者支援者研修会」の企画 ・上小圏域内の強度行動障がい児・者実態調査（アンケート）方法の検討 →施設連協、在宅福祉サービス連絡会からアンケートを配布してもらい、今年度は支給決定されている方の実態把握とする。 今年度の「強度行動障がい児・者支援者研修会」のグループワークは、支援に重きを置いた話し合いを行う。 場所：オンライン
第3回 9月2日	<ul style="list-style-type: none"> ・「強度行動障がい児・者支援者研修会」の企画 →10月13日に「上小圏域強度行動障がい児・者支援者研修会」実施を決定。 内容：①上田養護学校現状報告と事例報告 ②グループワーク「強度行動障がい児・者」への支援の実態について。 ・上小圏域内の強度行動障がい児・者実態調査（アンケート）結果の報告 →児・者合わせて66名。サービス種別を改めて確認する。 場所：オンライン
第4回 10月4日 10月13日	<ul style="list-style-type: none"> ・(10月4日)「上小圏域内重度包括支援状況報告会(評価会議)」 AM 樫の木福祉会、PM かりがね福祉会 ・(10月13日)「上小圏域強度行動障がい児・者支援者研修会」 上田養護学校による事例報告、グループワーク実施 場所：オンライン

<p>第5回 11月21日</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「上小圏域内重度包括支援状況報告会」振り返り <ul style="list-style-type: none"> →「樫の木福祉会」、「かりがね福祉会」、お互いのケースの状況を確認。 →重度包括から卒業できるケースが少ないことが課題として挙がっており、新たな利用者の受け入れが難しい状況。 ・「上小圏域強度行動障がい児・者支援者研修会」 <ul style="list-style-type: none"> →事例報告会は、支援方法を学ぶ上で必要だが、今後は、「強度行動障がい児・者」への支援方法自体を学ぶ機会が必要。 <p style="text-align: right;">場所：オンライン</p>
<p>第6回 2月1日</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・R4年度振り返り <ul style="list-style-type: none"> →今後も研修会は継続していく必要がある。 →幼少期からの支援方法の確立という意味では、今後は、児童の担当者、支援者とも話し合う機会を持っていく必要がある。 <p style="text-align: right;">場所：オンライン</p>

<p>考察 ・ 次年度に 向けて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・上小圏域内の大きな課題となっている「強度行動障がい児・者の受け皿不足」、「事業所間の横のつながり」という部分を少しでも解消するために今年度も上田養護学校の事例を用いた研修を実施。今後も上小圏域内の事業所と教育機関、医療機関との連携を図る意味でも研修会の継続を検討していく。 ・今年度は上小圏域の強度行動障がい児・者の実態アンケートを実施し、児童のケースの多さが確認できたため、来年度以降は、療育部会とも連携した中で話し合いを進めていく必要があると思われる。
----------------------------------	--

<p>参加機関</p>	<p>連絡会、協議会</p>	<p>長野県知的障害福祉協会強度行動障がい支援者研修実行委員</p>
	<p>福祉事業所</p>	<p>上小圏域内の「重度包括支援事業」を行っている事業所の担当職員、 上小圏域地域生活支援拠点事業所の管理者</p>
	<p>教育機関</p>	<p>上田養護学校進路担当職員</p>
	<p>行政機関</p>	<p>上小圏域内の市町村担当者</p>
	<p>部会長</p>	<p>青木村住民福祉課 係長</p>
	<p>事務局</p>	<p>上小圏域基幹相談支援センター</p>

<グループホームあり方検討グループ>

回/日付	内容/場所
第1回 5月13日	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の振り返り ・年間スケジュール作成 ・グループホームからの地域移行に向けての研修会を企画 →今年度も施設連協 GH 担当者会と共同で研修会を開催を予定 →今年度は GH から一人暮らしを实践した当事者の体験談から学ぶ研修の案が出る。 <p>場所：上田市ふれあい福祉センター</p>
第2回 7月13日	<ul style="list-style-type: none"> ・GH 研修会の企画 →上小圏域で GH から一人暮らしをした方の体験談を聞く →研修参集者に GH 職員だけでなく、相談支援専門員や GH で生活している当事者にも参加してもらうため、内容や開催方法、発表候補者など検討 <p>場所：上田市ふれあい福祉センター</p>
第3回 10月11日	<ul style="list-style-type: none"> ・GH 研修会の企画 →発表候補者が決定 →研修を行う目的を確認し、具体的な研修内容を決める。 <p>場所：上田市ふれあい福祉センター</p>
第4回 11月26日	<ul style="list-style-type: none"> ・GH からの一人暮らしに向けて研修会実施 <p>施設連協グループホーム部会と共催で、実践例を当事者の体験談も入れて報告いただく。 →実際 GH から一人暮らしをチャレンジしようとする当事者や支援者の聴講もあり、支援者からは具体的にどんな準備が必要かなど具体的な質問や意見交換が行われた。</p> <p>場所：オンライン</p>
第5回 2月10日	<ul style="list-style-type: none"> ・GH 研修会の振り返り、R4 年度振り返り →法人枠を超えて連携していくため横のつながりの必要性など意見が出される。相談支援専門員を交えて学ぶ場は今後も継続希望の意見が出る。 <p>場所：上田市ふれあい福祉センター</p>

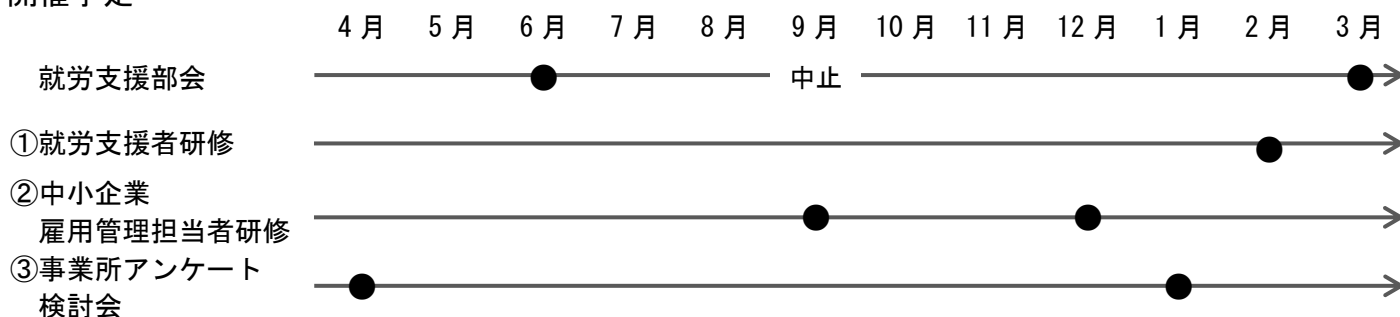
<p>考察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <p>次年度に向けて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・GH からの地域移行に向けて、相談支援専門員の役割も大切と相談支援専門員も入ってもらい今年度も施設連協 GH 会と共催で GH から一人暮らしの实践したケースの報告から学ぶ研修会を行う。コロナ禍で GH 関係者の研修や当事者の声から学ぶ研修の場や相談支援専門員と一緒に学び・意見交換できる場の継続開催希望がある。1人暮らしの体験を行える場が少なく失敗した場合のリスクを考えて踏み出せない現状があり、今後も地域移行の推進するための検討の場が必要。
--	---

参加機関	連絡会、協議会	上小地区心身障害者施設連絡協議会
	福祉事業所	上小圏域内のグループホーム担当職員
		上小圏域内の相談支援専門員
	行政機関	上小圏域内の市町村担当者
	部会長	青木村住民福祉課 係長
事務局	上小圏域基幹相談支援センター	

就労支援専門部会 年度報告

テーマ	<p>① 就職困難性を抱える方の就職及び定着促進【就労支援者研修】 障がいのある方が自分の状況を振り返り見える化した「情報共有シート」の普及を図る為、支援機関向けの研修会を開催する。</p> <p>② 職場の理解促進【中小企業雇用管理担当者研修】 障がい者が離職する理由を検証し、雇用管理担当者向けの研修会を開催する。</p> <p>③ 昨年度実施したアンケート結果に基づいて、障がい者雇用についての課題や支援機関に求める項目等を整理し、企業向け支援策を検討します。</p>
上小圏域第6期障害福祉計画 重点施策の該当項目	
○ 就労系事業所における情報共有ツールの普及に努め、一般就労希望者の支援と定着率向上を図ります。	

開催予定



【就労支援部会】

回/日付	内容/場所
第1回 6月22日	令和3年度活動報告 令和4年度活動計画について意見交換 ハローワーク上田管内の雇用情勢について 各支援機関より報告 他 場所：上田合同庁舎 南棟2階会議室
第2回 9月	感染症警戒レベル上昇により中止（就労移行・就労継続支援A型への訪問）
第3回 3月3日	令和4年度活動報告 ハローワーク上田管内の雇用状況について 各事業所より状況報告 上田養護学校在校生の状況について 障害者就労支援に関する法律改正の動向について 他 場所：上田市ふれあい福祉センター2階大会議室

【就労支援者研修】テーマ①

3月13日	<p>「就労パスポートワークショップ」</p> <p>障がいのある方が、働く上で自分の特徴やアピールポイント、希望する配慮などについて、支援機関と一緒に整理し、事業主などに分かりやすく伝えるためのツールの活用方法について学ぶ</p> <p>参加者：就労系福祉サービス事業所のスタッフ 場所：上田市ふれあい福祉センター大会議室</p>
-------	--

【中小企業雇用管理担当者研修】テーマ②

<p>第1回 9月6日</p>	<p>第1回障がい者雇用管理担当者研修会 「上小圏域のリワーク（復職）支援について」</p> <p>在職者について メンタル疾患（うつ病予防のポイント） 休職中の療養と回復のポイント 復職で活用できる助成金 対象者に伝えるべき社内規定 再休職を防止するポイント などを学んで頂きました。</p> <p>参加事業所数：22社（参加人数40名）</p> <p>講師：(株)ウォームブランケット 代表取締役 小林博之氏、久保田瑞枝氏</p>	<p>第1回障害者雇用管理担当者研修会 事業主各位</p> <p style="text-align: right;">参加費 無料</p> <p>上小圏域のリワーク（復職）支援について</p> <p>休職している従業員の復職について お困りではありませんか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休職期間中、企業が行う対策とは・・・ ・復職のタイミングは・・・ ・利用できる支援制度や助成制度はあるのか・・・ ・復職後の仕事の与え方や配置が難しい・・・ ・上小圏域で相談できる機関はあるのか・・・ ・主治医に連絡したいが、本人の同意が難しい・・・ <p>メンタルヘルス不調による休職又は退職する従業員は年々増加しており、企業の深刻な課題になっています。復職中の対応・準備・復帰判断や復職後のフォローについて現状と課題を理解してお役立て下さい。</p> <p>日時：令和4年9月6日（火） 15：00～17：00 場所：上田市ふれあい福祉センター2階 大会議室 内容：メンタル不調社員のリワーク・復職対応のポイント 講師：(株)ウォームブランケット 代表取締役 小林博之氏（作業療法士） 久保田瑞枝氏</p> <p>※資料等準備のため、できるだけ事前に申し込みをお願いいたします。</p> <p style="text-align: right;">申込は裏面へ</p> <p>共催 上田公共職業安定所 上小圏域障害者就業・生活支援センター SHAKE</p>
---------------------	--	---

<p>第2回 11月24日</p>	<p>第2回障がい者雇用管理担当者研修会 「発達障害を抱える者の雇用サポート」 ～課題と対応例～</p> <p>発達障害者の自立及び社会参加の促進を目的とした企業就労に向けた意識が高まっている中、職場での認識や正しい関わり方を学んでいただきました。本研修では障害特性などを学び、雇用サポートの課題と対応例について取り上げました。</p> <p>参加事業所数：20社（参加人数26名）</p> <p>講師：千曲荘病院デイケアチャンス 所長 河埜康二郎氏</p> <p>場所：上田市ふれあい福祉センター2階 大会議室</p>	<p>第2回障害者雇用管理担当者研修会 事業主各位</p> <p style="text-align: right;">参加費 無料</p> <p>発達障害を抱える者の雇用サポート ～課題と対応例～</p> <p>雇用管理上、次のような悩みはありませんか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発達障害とはどんな障害なの？ ・どう対応したらよいかわからないのだけれど・・・ ・何回も同じミスを繰り返すけれど、どう指導すればいいの？ ・やる気がないように見えるんだけど・・・ ・発達障害の人が困っていることってどんなこと？ ・いい職場環境を作りたいけれど・・・ <p>発達障害者の自立及び社会参加の促進を目的とした企業就労に向けた意識が高まっています。しかしながら、現状においては、障害のわかりにくさや支援体制の不備等から認識や正しい関わり方ができていないことも多々あります。発達障害と一言でいっても、その特徴は必ずしも一律ではありません。</p> <p>本研修では、障害特性などを学び、雇用サポートの課題と対応例について取り上げます。発達障害とは何かを理解して、雇用管理にお役立てください。</p> <p>日時：令和4年11月24日（木）15：00～17：00 場所：上田市ふれあい福祉センター 2階 大会議室 内容：発達障害を抱える者の雇用サポート ～課題と対応例～</p> <p>講師：千曲荘病院 主任作業療法士 河埜康二郎氏</p> <p>※資料等準備のため、できるだけ事前に申し込みをお願いいたします。</p> <p style="text-align: right;">申込は裏面へ</p> <p>共催 上田公共職業安定所 上小圏域自立支援協議会</p>
-----------------------	---	---

【事業所アンケート検討会】テーマ③

・令和3年度実施したアンケート結果に基づいて、障がい者雇用についての課題や支援機関に求める項目等を整理し、具体的取り組みについて意見交換をおこなった。

<p>第1回 4月27日</p>	<p>事業主アンケートの分析・事業主支援策の検討 場所：上田市ふれあい福祉センター2階市民ホール</p>
<p>第2回 1月20日</p>	<p>アンケート 事業主アンケートの分析・事業主支援の助言 場所：上田市ふれあい福祉センター2階市民ホール</p>

<p>考察 ・ 次年度に 向けて</p>	<p>就労支援部会では障がいをお持ちの方が長く働き続けられるために必要な環境作りを行っております。</p> <p>・テーマ①支援機関向けの研修会は、令和元年度から4年目のワークショップを開催し「就労パスポート」の普及・浸透を図りました。この厚生労働省が作成したツールは長野県内では上小圏域が先行して普及しており、提出を求める一般事業所も増えております。今後も研修を重ねていくことで地域の福祉事業所や企業で活用できるよう普及と浸透を深めてまいります。更に定着面談でも活用し、パスポートをアップデートしながらタイムリーな課題検討や目標づくりを行うことで雇用の安定を図っていきます。</p> <p>・テーマ②中小企業雇用管理担当者研修も今年で5年目となり、講義の内容も深まり、参加される一般事業所も年々増えてきており、障がい者雇用の意識が深まっている事を実感しています。職場の理解促進の為に中小企業雇用管理担当者研修を年2回開催しました。毎回20社、30名～40名ほどの参加があります。雇用管理者の声として、実際の取り組み事例、労働関係法令や年金などの社会保障制度関連の説明、またメンタル疾患や発達障害を抱える者との接し方について学びたいという声が上がっています。また、ワークショップのような体験型研修などを求める声も多くあがっています。次年度も研修を開催し、より多くの企業が参加しやすい開催方法・研修内容を引き続き模索していきます。</p> <p>テーマ③企業向け支援策としては具体案を絞っている段階です。令和5年度にお示しできるよう準備を進めています。全体として次年度以降の障害者雇用及び就労系福祉サービスの動向も注視し、アセスメント力・ネットワークの形成を主眼に取り組むことが必要です。</p>
----------------------------------	---

<p>参加機関</p>	<p>福祉・ 就労支援機関</p>	<p>若者サポートステーション、上田市生活就労支援センター、東御市生活就労支援センター、就労定着支援事業所、就労移行支援事業所、就労継続支援A型事業所、就労継続支援B型事業所</p>
	<p>医療機関</p>	<p>千曲荘病院 鹿教湯病院 三才山病院</p>
	<p>教育機関</p>	<p>長野県上田養護学校、長野県佐久技術専門校、長野大学</p>
	<p>行政機関</p>	<p>長野県上田保健福祉事務所福祉課、長野県上田地域振興局、長野県長野地域振興局、上田市福祉部障がい者支援課、上田市丸子地域自治センター市民サービス課、上田市真田自治センター市民サービス課、上田市武石地域自治センター市民サービス課、上田市商工観光部地域雇用推進課、東御市福祉部福祉課、長和町町民福祉課、青木村住民福祉課</p>
	<p>部会長</p>	<p>東御市 健康福祉部 福祉課 福祉援護係 係長</p>
	<p>副部会長</p>	<p>上田公共職業安定所 専門援助部門 上席職業指導官</p>
<p>事務局</p>	<p>上小圏域障害者就業・生活支援センターSHAKE</p>	

障害者の雇用状況について（上田公共職業安定所管内 令和5年1月末現在）

○新規求職申込件数

障害者の新規求職申込件数については、表1の通り全体としては対前年同期比で14件増加となっております（4月から1月までの累計比）。障害種別ごとでは、知的障害と発達・難病等が減少していますが、身体・知的障害が増加しております。

表1 新規求職申込件数の対前年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和3年度	42	40	46	32	34	41	31	34	43	39			382
令和4年度	42	50	50	30	30	44	41	24	42	43			396
増減	0	10	4	▲2	▲4	3	10	▲10	▲1	4			14

表2 障害種別ごとの新規求職申込件数の対前年比較（4月から1月までの累計比）

	令和3年度		令和4年度		前年度比増減
	件数	比率	件数	比率	件数
身体	73	19.1%	89	22.5%	16
知的	65	17.0%	58	14.6%	▲7
精神	212	55.5%	226	57.1%	14
発達・難病等	32	8.4%	23	5.8%	▲9

○就職件数

障害者の就職件数については、表3の通り全体としては対前年同期比で19件減少しております。障害種別ごとに見ますと、知的障害を除く障害種別で対前年比で減少しております。表5の県内安定所毎の障害者就職件数を見ますと、ほとんどの安定所が令和2（2020）年度に就職件数を大きく減らし、翌令和3（2021）年度に就職件数を令和元（2019）年度水準まで戻していますが、上田所管内については、令和元（2019）年度から一貫して増加しており、特に令和3（2021）年度については対前年度比で大きく就職件数を増加させており、今年度についてはその反動減になったものとみられます。

表3 就職件数の対前年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和3年度	27	19	21	25	17	18	14	29	23	19			212
令和4年度	17	20	21	16	19	20	23	26	10	21			193
増減	▲10	1	0	▲9	2	2	9	▲3	▲13	2			▲19

表4 障害種別ごとの就職件数の対前年比（4月から1月までの累計比）

	令和3年度		令和4年度		前年度比増減
	件数	比率	件数	比率	件数
身体	30	7.9%	25	6.3%	▲5
知的	45	11.8%	46	11.6%	1
精神	118	30.9%	116	29.3%	▲2
発達・難病等	19	5.0%	6	1.5%	▲13

表5 長野県内安定所毎の障害者就職件数

	長野	松本	上田	飯田	伊那	篠ノ井	飯山	木曽 福島	佐久 ※	大町	須坂	諏訪 ※
令和元年度	355	425	187	148	198	177	106	26	217	70	70	84
令和2年度	296	351	207	160	167	169	80	26	222	52	52	60
令和3年度	355	426	256	144	200	203	100	21	241	72	72	52
R2・R3増減	59	75	49	▲16	33	34	20	▲5	19	20	20	▲8

※佐久所には小諸出張所分が、諏訪所には岡谷出張所分がそれぞれ含まれます。

○有効求職者数

昨年と今年の1月末現在の有効中の障害求職者数を比較すると、表6の通り全体としては対前年同期比で165件減少しております。障害種別ごとにみると、身体障害の減少が特に多い一方、精神障害については求職者数に比して減少数が少なく、有効求職者全体に占める割合の6割に達しています。

表6 2022年1月末現在と2023年1月末現在の有効求職者数の増減

	2022年1月末現在		2023年1月末現在		増減
	件数	比率	件数	比率	
身体	198	26.7%	132	22.9%	▲66
知的	106	14.3%	76	13.2%	▲30
精神	384	51.8%	347	60.2%	▲37
発達・難病等	53	7.2%	21	3.6%	▲32
合計	741		576		▲165

○全体として

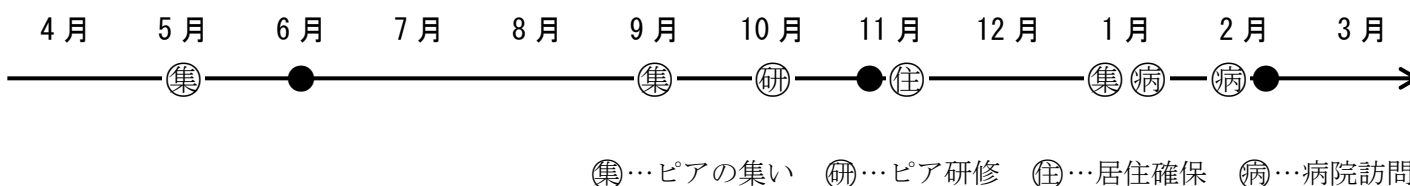
令和4年度については就職件数が前年度比で若干減少する見込みですが、これは令和3年度に就職件数が大きく増加したことの反動減によるものと考えております。有効求職者数については、新規求職申込による増加要因と就職による減少要因に比して減少幅が大きいです。これは一定期間来所のない有効求職者を整理したことによるものです。いずれにしても、有効求職者の6割を占める精神障害者の就職支援が引き続き大きな課題となります。

令和4年度 上小圏域障がい者自立支援協議会

地域生活移行専門部会 年度報告

テーマ	① 長期入院患者等の地域移行に関する取り組み（医療機関等との体制整備の強化） ② 精神障がい者ピアサポートに関する取り組み（ピアサポート研修の実施、ピアの集い） ③ 居住確保に関する取り組み（多職種連携の推進）
上小圏域第6期障害福祉計画 重点施策の該当項目	
○地域移行支援の推進と同時に、共同生活援助等の夜間支援体制の充実を図ります。	

開催予定



回/日付	内容/場所
4月21日	令和4年度上小圏域障がい者ピアサポート基礎研修 コアメンバー会議① 参加者) 相談支援事業所・相談支援専門員、精神科病院・精神保健福祉士、事務局 場所：ふれあい福祉センター市民ホール
4月25日	精神科病院訪問へ向けての打ち合わせ 参加者) 上田市高齢者介護課 課長補佐、担当保健師、事務局 場所：上田市役所2階
5月16日	第1回ピアサポート基礎研修受講者の集い 参加者) 受講者4名、関係者3名、事務局2名 交流およびピアサポート研修協力依頼、今年度の活動について など 場所：ふれあい福祉センター市民ホール
6月2日	令和4年度上小圏域障がい者ピアサポート基礎研修 コアメンバー会議② 参加者) 相談支援事業所・相談支援専門員、精神科病院・精神保健福祉士、事務局 場所：ふれあい福祉センター市民ホール
第1回 6月17日	昨年度の振り返り 今年度の部会計画について ① 長期入院患者等の地域移行に関する取り組み ② 精神障がい者ピアサポートに関する取り組み ③ 居住確保に関する取り組み 場所：長和町役場第1,2会議室およびオンライン
7月10日	住宅関係者との合同勉強会打ち合わせ 参加者) 長野県宅地建物取引業協会上田支部、事務局 場所：長野県宅地建物取引業協会上田支部本部
7月22日	地域包括支援センター担当者会議参加 ・自立支援協議会および地域生活移行専門部会の説明 ・部会での精神科病院訪問の内容 ・上小圏域内にあるA精神科病院の入院状況の実態について ・病院職員の思い 参加者) 地域包括支援センター、上田市高齢者介護課、事務局 場所：上田市役所大会議室
9月12日	第2回ピアサポート基礎研修受講者の集い 参加者) 受講者2名、関係者3名、事務局2名 交流およびピアサポート研修協力依頼、その他今後の活動について など 場所：ふれあい福祉センター市民ホール
9月16日	「障がいのある人の、住まいの現状とについて」 参加者) 長野県宅地建物取引業協会上田支部、県および上小圏域内市町村公営住宅担当者、 地域生活移行専門部会

	<p>内容)・アンケート結果の共有・病気について・事例提供と制度説明・質疑応答、意見交換等 *人数が集まらず、コロナ状況も収まらないため中止 ○今後について、打ち合わせ 参加者) 長野県宅地建物取引業協会 上田支部、事務局 場所: 長野県宅地建物取引業協会 上田支部本部</p>
10月 3日、7日 14日、21日	<p>令和4年度上小圏域障がい者ピアサポート基礎研修 参加者) 精神科病院、福祉事業所 など 内容) 他圏域からの報告、基礎知識、コミュニケーション手法、リカバリーストーリーなど 受講者) ピア8名、支援者3名 場所: 上田合同庁舎南棟など</p>
第2回 11月18日	<p>① 長期入院患者等の地域移行に関する取り組み 訪問および地域包括ケア会議について ② 精神障がい者ピアサポートに関する取り組み ピアサポート研修報告 ④ 居住確保に関する取り組み 勉強会について 場所: 長和町役場 (一部オンライン)</p>
11月21日	<p>「障がいのある人の、住まいの現状と入居に対する対応について」 参加者) 長野県宅地建物取引業協会 上田支部5名、県および上小圏域内市町村公営住宅担当者6名、地域生活移行専門部会7名 内容)・アンケート結果の共有・病気について・事例提供と制度説明・質疑応答、意見交換等 場所: 上田合同庁舎南棟</p>
1月23日	<p>第3回ピアサポート基礎研修受講者の集い 参加者) 受講者9名、関係者3名、事務局4名 意見交換・交流および今後の活動について 場所: 上田合同庁舎講堂</p>
1月31日	<p>・精神科病院訪問①メンタルサポートそよかぜ病院 参加者) 医療法人清泰会 精神保健福祉士5名 上田市高齢者介護課1名、部会員2名(上田市本庁、東御市)、事務局3名 内容) 訪問の主旨説明、長期入院されている地域の方の情報共有、地域の方との面会 など 場所: メンタルサポートそよかぜ病院</p>
2月3日	<p>・精神科病院訪問②安藤病院 参加者) 医療法人慈善会 精神保健福祉士3名 上田市高齢者介護課1名、部会員2名(上田市本庁、武石地域)、事務局3名 内容) 訪問の主旨説明、入院状況、地域の方の情報共有、意見交換 など 場所: 安藤病院、ふれあい福祉センター (オンライン)</p>
2月7日	<p>・精神科病院訪問③千曲荘病院 参加者) 医療法人友愛会 千曲荘病院地域移行推進委員会 (看護師7名、作業療法士1名、精神保健福祉士2名) 上田市高齢者介護課1名、部会員4名(上田市本庁、真田地域、青木村、長和町) 事務局2名 内容) 訪問の主旨説明、入院状況、意見交換 など 場所: 千曲荘病院</p>
第3回 2月24日	<p>今年度の振り返り ① 長期入院患者等の地域移行に関する取り組み 精神科病院訪問の報告 ② 精神障がい者ピアサポートに関する取り組み ピアサポートの集い報告 ③ 居住確保に関する取り組み 勉強会報告 など 場所: ふれあい福祉センター (一部オンライン)</p>
3月6日	<p>住宅関係者との合同勉強会 振り返り等 参加者) 長野県宅地建物取引業協会 上田支部、事務局 場所: 長野県宅地建物取引業協会 上田支部本部</p>

<p>考察 ・ 次年度に 向けて</p>	<p>① 長期入院患者等の地域移行に関する取り組みでは、精神科病院へ訪問し、地域の方である患者さんとの面談をする予定であったが、コロナ状況により面談できたのは1病院のみであった。ただし、面談をご希望されている病院もあるため、市町村の訪問継続ができるようにしていきたい。</p> <p>② 精神障がい者ピアサポートに関する取り組みについては、保健福祉事務所および地域の支援関係者の多大な協力のもと、ピアの方以外に、支援者の方にも参加していただき行うことができた。ピアサポートの集いについては、参加者が少ないことが課題であったが、今年度の研修参加者の加入により意見交換が活発になった。ピアサポートの横のつながりと、ピアサポートの活躍を目標にしているが、ピアサポートの活躍の場が無いことが課題である。</p> <p>③ 居住確保に関する取り組みでは、居住関係者と福祉関係者が顔を合わせる機会を作るため、今年度は昨年度のアナケート結果をもとに、長野県宅地建物取引業協会上田支部と共催で勉強会を行った。今回の勉強会アナケート結果や、お互いの関係性を築き上げていくためにも顔を合わせる機会の必要性を感じている。</p>
----------------------------------	---

<p>参加機関</p>	福祉事業所	相談支援事業所相談支援専門員 福祉サービス事業所職員
	医療機関	精神科病院精神保健福祉士
	行政機関	上小圏域内 市町村（保健）福祉関係課担当者 長野県上田保健福祉事務所福祉課担当者、健康づくり支援課担当者
	当事者団体等	精神障がい者家族会
	その他	住まいに関連する関係者団体および医療機関、高齢者介護課等、検討課題により必要に応じて部会員以外の方の参加あり
	部会長	長和町町民福祉課 係長
	事務局	長野県上田保健福祉事務所健康づくり支援課 上小圏域基幹相談支援センター

病院訪問報告書

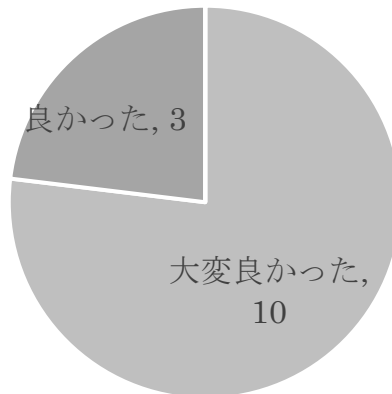
令和5年2月24日(金)

病院名	(医) 慈善会 安藤病院 担当 山田さん	(医) 清泰会 メンタルサポート そよかぜ病院 担当 青木さん	(医) 友愛会 千曲荘病院 担当 飯島さん
日時	2/3(金) 11:00~12:00	1/31(火) 13:30~14:30	2/7(火) 15:30~17:00
方法	リモート(安藤病院、ふれあい福祉センター)	訪問	訪問
人数	ソーシャルワーカー3名	精神保健福祉士5名	看護師7名、 作業療法士1名 精神保健福祉士2名
内容	1、入院状況の共有 2、地域の方の情報共有 3、意見交換等	1、長期入院されている地域の方の情報共有 2、地域の方との面会 3、意見交換等	1、地域移行推進委員会との話し合い 2、意見交換等
訪問者	高齢者介護課 上田市本庁 武石地域 支援センター3名 計6名	高齢者介護課 上田市本庁 東御市 上田保健福祉事務所 支援センター2名 計6名	高齢者介護課 上田市本庁 真田地域 青木村 長和町 支援センター2名 計7名
まとめにかえて(内容の抜粋)	・入院患者さんの状況から、65歳以上が90%を占めており、退院支援がすすまない現状。後見制度利用について、身寄りのない方についての意見交換。患者さんとの面会については、現段階では難しいが、対象の方がいれば可能。	・情報共有では、高齢者が多く、退院意欲の低下により面会に至らない方がいた。2名の方との面会をさせていただきました。1回の面会ではなく、面会の積み重ねの必要があり、面会の積み重ねがモチベーションを保つことへもつながるのではないか。	・高齢者介護課からの訪問もあり、認知症病棟からも参加していただいた。提出していただいた入院状況の資料から、上小圏域の各市町村の人数も把握できた。コロナ禍もあり、面会には至らなかったが、病院スタッフからは、面会の強い希望が出された。

ピアサポート基礎研修（第1回）アンケートまとめ

1 評価

- ・アンケート回収数 13 / 参加者（スタッフ含む）20 ⇒ 回収率 65.0%
- ・全員が「大変良かった・良かった」と回答



2 意見・感想

- ・ピアサポーターの方の直接の話が聞いて良かった。
- ・ピアサポーターについて、やりがいがありそうな仕事に思えた。
- ・ピアサポーターの具体的な活動が理解できた。
- ・ピアサポーターの活動を知る機会が少ないので貴重な話を聴くことが出来て嬉しかった。
- ・当事者の声が聴けて良かった。当事者だからわかること、伝えられることは多くあると思う。自己開示が苦痛だった時期もあったということも知ったが、経験が強みになることを学べた。
- ・ピアサポーターの方の生の声（支援者の望むこと）が大変参考になった。自分の希望すること、してほしくないことをしっかり伝えられるのは素晴らしいことと思う。実際の活動をこれから聞きながら学びを深めていきたい。
- ・実際にピアで活躍されている方のお話を聴けて「自分はどうしたいのかな？」を改めて考えるきっかけになった。
- ・ピアサポートについて事前に知っていたが、実際の活動内容などが聞いて、これから学ぶこととしてとても現実感が増した。自分が自ら活動するとき不安なことなども発表していただいた方の話をきいて和らいだ。
- ・実際にピアサポーターとして活動されている方々の話を聞いて良かった。今の自分の状態でピアサポーターとしての活動が本当に出来るのか不安。
- ・佐久圏域のピアサポーターとして活躍されている方々の話を聞いて良かった。特に八木さんのリカバリーストーリーには共感するところがあった。
- ・ピアサポーターの方の生の声が聴けてとても学びになった。やりたいことが無かったところが、ピアサポーターになり、活躍されている様子、また、自己開示やセルフスティグマなどその時々的心情等とてもわかりやすく教えていただいた。4日間良い学びにつなげ、良い事業所づくりをしてきたいと思った。
- ・色々知らなかった情報が聞いて大変勉強になった。これからの研修も色々なことを勉強していきたいと思う。
- ・自分は頭の病気だったが後遺症が重かったので、二人のピアサポートの話聞いてなるほどと思った。次の研修も楽しみにしている。

3 精神障がい者地域生活支援に関する課題や、研修で取り上げてほしいテーマ

- ・精神障がい者が生活しやすい地域であってほしいと思います。地域の方に向けて精神障がいの理解に向けての研修があったらよいと思います。
- ・佐久ではピアサポーターの具体的な関わり方や活動の仕方がわかったが、上田が今後どうなっていくのか知りたい。
- ・病院（PSW）、業栄（支援課、ハローワーク）、事業所との中でのピアサポーター確立を目指してほしい。
- ・ピアサポーターとしてのピアとの会話で相手との距離感などをどうすればうまく取れるか。
- ・WRAP にとても興味があった。勉強してみたい。（2人）

令和4年度 上小圏域障がい者ピアサポート基礎研修

実施報告

参加者

1. 参加人数

○ピア：8人（内1人は聴講） / ○管理者：3人

2. 診断名

○統合失調症：2人 ○うつ病：2人 ○適応障害：1人（重複） ○発達障害：1人
○高次脳機能障害：1人 ○難病：1人 ○依存症：1人

アンケート結果（ピア）

1. 第2日目「ピアサポートとは」の講義はいかがでしたか。

①よく理解できた。：3人 ②まあまあ理解できた：3人 ③難しかった：1人

【意見・感想等】

- ・最初はわからなかったが、分かりやすい話を聞く中で理解できました。
- ・初回でかなり緊張しました。
- ・難しい言葉が多かった。

2. 第2日目「リカバリーとストレングス視点」の講義はいかがでしたか。

①よく理解できた。：2人 ②まあまあ理解できた：3人 ③難しかった：2人

【意見・感想等】

- ・リカバリーは理解できたが、ストレングスは難しいです。
- ・同じピアとしてできることは何か、ストレングスの大切さが学びました。
- ・説明が聞きやすかった。
- ・普段聞きなれない言葉が多く、難しかった。

3. 第3日目「ピアサポートとコミュニケーション」の講義はいかがでしたか。

①よく理解できた。：2人 ②まあまあ理解できた：4人 ③難しかった：1人

【意見・感想等】

- ・コミュニケーションが苦手なので、どうすれば良いか分かって良かった。
- ・ピアサポーターとしてコミュニケーションを柔軟に対応することが分かりました。
- ・他の方の話を聞いて、自分のリカバリーストーリーを話す勇気になった。

4. 第4日目「リカバリーストーリーについて」の講義はいかがでしたか。

①よく理解できた。：6人 ②まあまあ理解できた：2人 ③難しかった：0人

【意見・感想等】

- ・話しを聴いたり自分でも作ったり大変だったが、理解できたと思います。
- ・発表はとても緊張したが、皆さんの温かい声で安心して話せました。
- ・自分と異なる人生のリカバリーストーリーを聴けて良かった。糧にしたい。

5. 全体を通してのご意見、ご感想等をお書きください。

- ・リカバリーストーリーを作るのが大変でしたが、いい経験ができました。
- ・様々な話しが聞けて良かった。
- ・グループワークをもっと取り入れてほしいです。(皆さんと話しをしてみたかった。)
- ・とても有意義な研修でした。自分のペースでピアサポーターの活動に従事したい。
- ・研修者との関わりがもう少し欲しかった。
- ・全体的に難しかったが、自分のためになり有意義だった。
- ・たくさん学ばせていただきありがとうございました。
- ・すぐにはピア活動の実践ができる自身がまだないです。

6. 今後、ピアサポート活動をしてみたいですか。(ピアの方のみお答えください)

①してみたい：8人 ②わからない・考え中：0人 ③したくない：0人

※既に活動している方がいましたので、①に入れました。

アンケート結果（管理者）

1. 第1回「ピアサポートとは」の講義はいかがでしたか。

①よく理解できた。：3人 ②まあまあ理解できた：0人 ③難しかった：0人

【意見・感想等】

- ・ピアサポーターの生の声が聞けて良かった。
- ・ピアサポートは当事者同士の支えと理解しました。

2. 第2回「リカバリーとストレングス視点」の講義はいかがでしたか。

①よく理解できた。：3人 ②まあまあ理解できた：0人 ③難しかった：0人

【意見・感想等】

- ・ケアリング理論は初めて知り、参考になった。
- ・リカバリーと言うことを、とても考えさせられた。

3. 第3回「ピアサポートとコミュニケーション」の講義はいかがでしたか。

①よく理解できた。：3人 ②まあまあ理解できた：0人 ③難しかった：0人

【意見・感想等】

- ・具体的な場面を想定して話しを伺い、今後に役立つと考える。
- ・わかりやすく聞きやすかった。

4. 第4回「リカバリーストーリーについて」の講義はいかがでしたか。

①よく理解できた。：3人 ②まあまあ理解できた：0人 ③難しかった：0人

【意見・感想等】

- ・皆さんの深い語りに気づかされる研修でした。
- ・自己開示することは共有することや聴くこと、考えさせられることと共に、とても重要なことだと感じました。

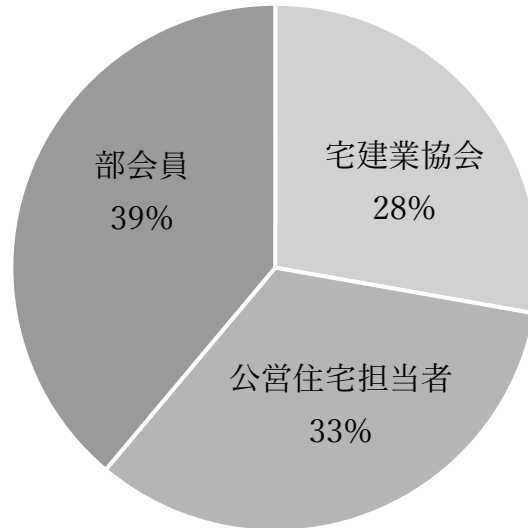
5. 全体を通してのご意見、ご感想等をお書きください。

- ・ピアサポーターの必要性を改めて感じました。

合同勉強会 アンケート集計結果

① 所 属

1. 宅建業協会：5人 2. 公営住宅担当者：6人 3. 部会員：7人



② 内容はどうでしたか

○宅建業協会

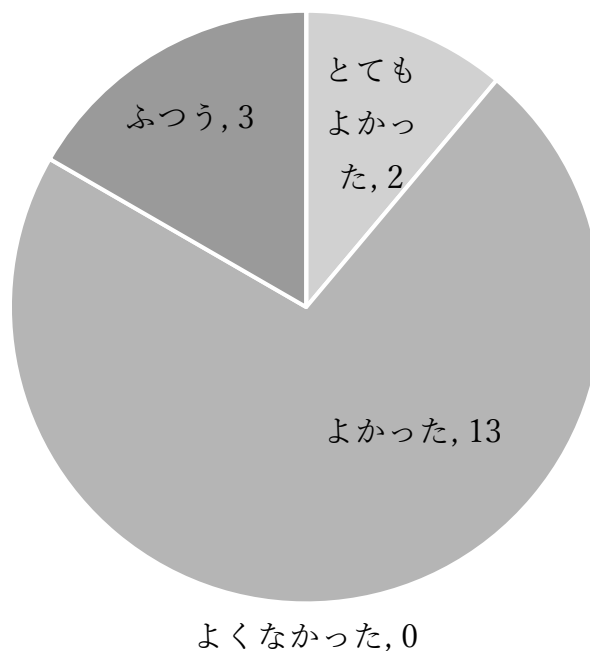
・とてもよかった：0人、・よかった：5人、・ふつう：0人・よくなかった：0人

○公営住宅担当者

・とてもよかった：1人、・よかった：4人、・ふつう：1人・よくなかった：0人

○部会員

・とてもよかった：1人、・よかった：4人、・ふつう：2人・よくなかった：0人



③ 今後に取り上げて欲しいテーマなどがありましたら教えてください。

○宅建業協会

- ・どれくらいの人が（物件を）探されているのか。
- ・住宅確保、要配慮者全体の情報。

○公営住宅担当者

- ・身寄りのない高齢者や障がい者の方について、亡くなった後の支援やできること。

○部会員

- ・障がいの有する方が入居した際に、どのようなルールを守れずに困られたことがあるのか、具体的な事例を共有できたら嬉しいです。
- ・公営住宅や賃貸アパート等での事例をテーマとした話し合いの場があればと思う。
- ・市営住宅活用の勉強会
- ・個々のケースに対しての対応内容が多かったので、事例形式の会議でも良いのではと思った。

④ その他のご意見をお願いします。

○宅建業協会

- ・身体障がい、知的障がい、精神障がいの要因と治療と、各福祉制度サービスの関連図。
- ・責任ある支援の仕方とは？意識改革の必要を感じた。
- ・今後も勉強会をしていただければよいと思います。
- ・上記のサポート方法の検討。

○公営住宅担当者

- ・福祉関係者、住宅関係者が集まって情報共有する機会はないので、これからもこういう機会を作っていただければありがたいと思います。
- ・意識を変えることができる。知る機会ができて良かった。福祉との連携による対応が必要。
- ・精神の病気について、理解を深めることができた。

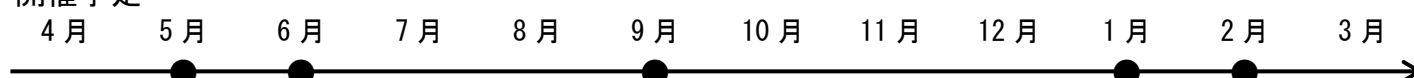
○部会員

- ・続けて、居住支援協議会を目指して下さい。
- ・住宅関係者からの直接、声が聞けて良かった。定期的に話し合えたら相談しやすくなると思う。
- ・具体的な事例等、一緒に検討していきたいです。
- ・このような話し合いが継続することを望みます。

権利擁護委員会(虐待・権利) 年度報告

テーマ	① 「障がい者虐待の防止、障がい者の養護者に対する支援に関する法律（障がい者虐待防止法）」圏域内研修の企画・運営 ② 上小圏域内虐待案件の検証の企画 ③ 事業所内虐待防止研修の実態把握及び周知研修の検討
上小圏域第6期障害福祉計画 重点施策の該当項目	
地域包括エリアごとに協議検討を積み上げ、多職種及び地域住民の連携システムを構築します。	

開催予定



回/日付	内容/場所
第1回 5月10日	<ul style="list-style-type: none"> ・年間計画の作成・確認（事務局での打ち合わせ会議） ①圏域内障がい者虐待防止センター向け虐待防止・権利擁護研修の企画 ②上小圏域内虐待案件の検証の日程確認 ③事業所内虐待防止研修の実態把握（アンケート）及び周知研修の確認 <p style="text-align: right;">場所：上田市ふれあい福祉センター</p>
第2回 6月22日 23日	<ul style="list-style-type: none"> ・圏域内 障がい者虐待防止センター向け虐待防止・権利擁護研修実施 <p>時間 18時半～20時半</p> <p>参加者 上小圏域市町村担当職員、上田保健福祉事務所福祉課担当職員、上小圏域成年後見センター担当職員、上小圏域基幹相談支援センター職員</p> <p>内容 【講義】障がい者虐待防止法の概要 不適切な支援防止・虐待防止への取り組みについて 【グループワーク】障がい者虐待事案対応のポイントについて 【参加者 1日目18名、2日目22名（委員含む）】</p> <p>→各機関の担当者全員を対象として実施（欠席者には後日講義内容を動画で送付）。</p> <p style="text-align: right;">場所：上田市ふれあい福祉センター</p>
第3回 9月30日	<ul style="list-style-type: none"> ・圏域内 障がい者虐待防止センター向け虐待防止・権利擁護研修の振り返り <p>→「圏域内 障がい者虐待防止センター向け虐待防止・権利擁護研修」については、来年度以降も各機関の担当者全員を対象として実施していくことを確認。</p> <p>→来年度は、試行的に講義は事前に動画を視聴してもらい、演習に2時間時間をかける方向で検討。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業所内虐待防止研修の実態把握（アンケート）の報告 <p>→実際に研修を実施したことを協議会として確認できるシステムを検討していく（報告書の提出を義務化するなど）。</p> <p style="text-align: right;">場所：上田市ふれあい福祉センター</p>

<p>第4回 1月18日 15時頃～</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・上小圏域内虐待案件の検証 <p>長野県健康福祉部障がい者支援課 施設支援係係長 百瀬志津子氏にアドバイザーとして参加して頂く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①上小圏域虐待事案の検証 <p>→虐待認定されたケース：上田市7件、東御市1件、長和町1件。 通報があったが虐待認定されなかったケース：上田市11件、東御市1件。今年度は虐待認定されなかったケースについても検証を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ②障がいを理由とする差別の禁止に関する報告の確認 <p>→東御市2件</p> <p style="text-align: right;">場所：上田市ふれあい福祉センター</p>
<p>第5回 2月22日</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・R4年度権利擁護委員会振り返り ・次年度に向けての意見交換 <p style="text-align: right;">場所：上田市ふれあい福祉センター</p>

<p>考察 ・ 次年度に 向けて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・圏域内研修の企画・運営については、昨年度の振り返りを踏まえ虐待防止センター及び各機関の全職員を対象として実施。来年度以降も同様の体制で実施していく予定。内容はその都度検討し、演習を中心とした研修内容としていく。 ・虐待防止研修の圏域事業所内での実施状況についての実態把握アンケートでは、事業所内での虐待防止研修が義務化となる中で年度内の研修「実施予定なし」と回答する事業所があったことや実際に研修を実施したことを確認する必要があることが課題としてあがり、来年度検討が必要な状況。 ・上小圏域内虐待案件の検証については、今年度も長野県健康福祉部障がい者支援課施設支援担当係長にアドバイザーを担っていただき、虐待通報がなされた全ケースについて検証を実施。虐待対応の評価、ジャッジという意味合いではなく、各市町村で情報共有を行う学びの場として来年度以降も継続していく必要がある。
----------------------------------	---

<p>参加機関</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%; padding: 5px;">行政機関</td> <td style="padding: 5px;"> 上田市真田市民サービス課 係長 上田市障がい者支援課 係長 上田市丸子市民サービス課 係長 上田市武石市民サービス課 係長 （上田市障がい者虐待防止センター 本庁・真田・丸子・武石） 東御市福祉課（東御市障がい者虐待防止センター）福祉係長 長和町町民福祉課（長和町障がい者虐待防止センター）福祉係長 青木村住民福祉課（青木村障害者虐待防止センター）福祉係長 長野県上田保健福祉事務所福祉課 福祉係長 上小圏域成年後見センター </td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">部会長</td> <td style="padding: 5px;">上田市真田市民サービス課 係長</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">事務局</td> <td style="padding: 5px;">上小圏域基幹相談支援センター</td> </tr> </table>	行政機関	上田市真田市民サービス課 係長 上田市障がい者支援課 係長 上田市丸子市民サービス課 係長 上田市武石市民サービス課 係長 （上田市障がい者虐待防止センター 本庁・真田・丸子・武石） 東御市福祉課（東御市障がい者虐待防止センター）福祉係長 長和町町民福祉課（長和町障がい者虐待防止センター）福祉係長 青木村住民福祉課（青木村障害者虐待防止センター）福祉係長 長野県上田保健福祉事務所福祉課 福祉係長 上小圏域成年後見センター	部会長	上田市真田市民サービス課 係長	事務局	上小圏域基幹相談支援センター
行政機関	上田市真田市民サービス課 係長 上田市障がい者支援課 係長 上田市丸子市民サービス課 係長 上田市武石市民サービス課 係長 （上田市障がい者虐待防止センター 本庁・真田・丸子・武石） 東御市福祉課（東御市障がい者虐待防止センター）福祉係長 長和町町民福祉課（長和町障がい者虐待防止センター）福祉係長 青木村住民福祉課（青木村障害者虐待防止センター）福祉係長 長野県上田保健福祉事務所福祉課 福祉係長 上小圏域成年後見センター						
部会長	上田市真田市民サービス課 係長						
事務局	上小圏域基幹相談支援センター						

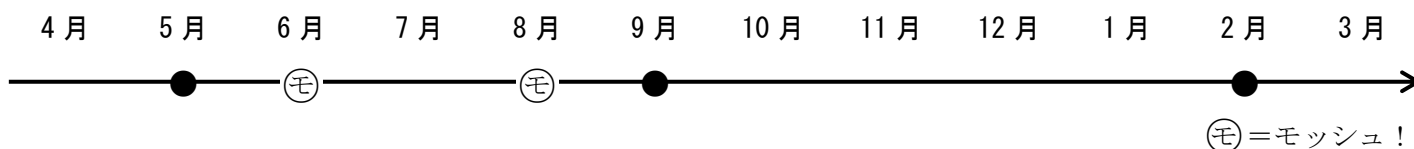
権利擁護委員会(差別解消) 年度報告

テーマ	<p>◇ 誰もが生活しやすい地域(共生社会)を実現するための啓発活動の推進を図る。</p> <p>① 知ること～㉗ 当事者・ご家族の声を届ける … 『地域づくり講座』『映画会』等</p> <p style="padding-left: 2em;">① 体験・学習会 … 『地区の防災訓練』『福祉体験』等</p> <p style="padding-left: 2em;">㉗ 実態把握 … 民間事業所(企業)の合理的配慮の実施状況について 市町村ごとの相談内容集約</p> <p>② 語りあうこと～ 市町村当事者団体懇談会(障害者差別解消支援地域協議会)の開催</p> <p>③ 関わりあうこと～ 『モッシュ! 2022 in ながわまち』</p>
-----	--

上小圏域第6期障害福祉計画 重点施策の該当項目

地域包括エリアごとに協議検討を積み上げ、多職種及び地域住民の連携システムを構築します。

開催予定



回/日付	内容/場所
第1回 5月17日	・年間計画の確認 場所：上田市ふれあい福祉センター
第2回 6月2日	テーマ③『モッシュ! 2022 in ながわまち』(1) タイル制作 参加者：和田小28名(3～6年生)、長門小90名(4～6年生)、保護者、教職員、山の子学園共同村利用者 約12名・支援者、制作担当者、長和町職員、権利擁護委員会 場所：和田小学校、長門小学校
第3回 8月下旬 (中止)	テーマ③『モッシュ! 2022 in ながわまち』(2) 広場モザイク設置 ※コロナ感染拡大のため小学生の参加中止 場所：長和町古町コミュニティセンター
8月19日	テーマ①打ち合わせ(JR東日本、上田市社会福祉協議会 出前講座について) 依頼の経緯と詳細、役割分担、外部依頼調整、時間配分、事前準備等の確認 場所：上田市社会福祉協議会
9月16日	テーマ① JR東日本 障がいのある人の理解と疑似体験(社協出前講座を活用した盲導犬体験) 参加者20名(総務部サービス品質改革室) 新幹線3駅合同サービス会議の一環として 上田市在住の盲導犬ユーザーが講師となり、駅利用時の声かけ対応や誘導方法を体験 後半は社協職員の進行により、装備品を用いた身体の不自由さの疑似体験を実施 場所：上田駅前パレオ
第4回 9月30日	テーマ③『モッシュ! 2022 in ながわまち』および上半期の振り返り テーマ①㉗ 市町村ごとの相談内容集約 場所：上田市ふれあい福祉センター

2月8日	<p>コア会議：今年度の活動を通して今後の方向性について意見交換</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こどもに視点をあてた障がい理解のための啓発活動はこれからの地域づくりには有効と捉え継続していく。 ・社会福祉協議会 ボランティア地域活動センターとタイアップした活動内容を検討していく。 <p style="text-align: right;">場所：上田市ふれあい福祉センター</p>
2月13日	<p>テーマ② 上田市障がい者等関係団体懇談会</p> <p style="text-align: right;">場所：上田市役所</p>
第5回 2月22日	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の振り返り ・次年度に向けての意見交換 <p style="text-align: right;">場所：上田市ふれあい福祉センター</p>
未実施	<ul style="list-style-type: none"> ・『地域づくり講座』等 <p>※新型コロナウイルス感染の状況により実施に至らず。</p> <p style="text-align: right;">場所：上田市西部公民館、他</p>

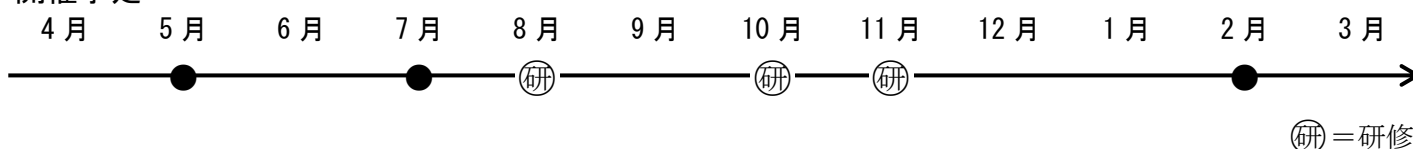
<p>考察</p> <p>・</p> <p>次年度に向けて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちへの普及啓発活動としてのモッシュュ！は、長和町の古町コミュニティセンター開所に合わせ、福祉事業所の利用者や町職員とともに広場のモザイクパーツを制作。折からのコロナ感染拡大のため、後半の設置作業には小学生の参加は中止された。教育機関との企画調整には課題が大きく、行政をはじめ関係機関との効果的な連携を図っていきたい。 ・民間企業への取り組みでは、JRの社員研修の一環で社協出前講座を活用した盲導犬体験に協力。駅利用時の声掛け対応や誘導方法を当事者の方と直接“話す”“聞く”ことで学ぶ機会を設けることが出来た。こうした取り組みが社会全体に広がっていくよう、各方面での実態を把握するとともに橋渡し役を積極的に担っていきたい。 ・障がい理解のための普及、啓発の活動は、今後も地道に続けていくことを前提に、上小圏域の現状に適した内容や方法については更に研究が必要。
-----------------------------------	---

参加機関	連絡会、協議会	上田市社会福祉協議会
	福祉関係機関	(社福)縦の木福祉会、西部包括支援センター、中央包括支援センター、神川包括支援センター
	教育機関	長門小学校、和田小学校
	行政機関	長和町
	民間・地域 等	上田市自治会連合会、他
	部会長 事務局	真田自治センター 上小圏域基幹相談支援センター

療育・発達部会 年度報告

テーマ	① 障がい児支援事業所の自己評価の結果から、質の向上に繋がる連続研修の企画 ② 『児童の福祉サービスのご案内』見直し（状況の把握と利用の仕方を再検討）
上小圏域第6期障害福祉計画 重点施策の該当項目	○障がい児の緊急時支援体制や放課後及び長期休暇中の支援基盤（放課後等デイサービスなど）の整備と支援の質の向上を図ります。 ○医療的ケア児を支援する児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所の確保を図ります。 ○療育支援の充実とともに、強度行動障害児者のサービス提供事業所の体制整備に向け協議の機会を作ります。

開催予定



回/日付	内容/場所
第1回 5月12日	<ul style="list-style-type: none"> 顔合わせ 今年度のテーマの確認 緊急時支援体制の現状把握と周知の仕方 『児童の福祉サービスのご案内』見直し <p>場所：ふれあい福祉センター</p>
第2回 7月22日	<ul style="list-style-type: none"> 『児童の福祉サービスのご案内』見直し ○見直しはないが保護者の就労と児童のサービスは切り離せない、あくまで子ども中心ということを抑える。 東御市の支給決定についての報告 ○保健、福祉、子育て、教育一体の「こどもサポートセンター」について説明 「子育て世帯訪問支援臨時特例事業」実施案について。 (家事支援と育児支援の中に学校等への送迎支援が含まれる) <p>場所：ふれあい福祉センター</p>
第3回 8月31日	<p>連続研修①【WISC-IVの読み解き方・活かし方】 特別支援教育士 森田美智子 氏 44名参加（うち部会員12名）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○アンケート集計28名 ・WISC-IV検査実施から見える課題の背景を捉え、多角的な面から分析できる知識を持ちたい。 ・ストレングスを生かした支援をし、苦手さを補えるサポートに努めたい。 ・数値に左右されず児童に向き合う心構えを改めて感じた。 <p>場所：ふれあい福祉センター・オンライン</p>
第4回 10月14日	<p>連続研修②【あそびをかえると子どもがかわる～考えてみよう！やってみよう！～】 作業療法士 西村由佳里 氏 44名参加（うち部会員12名）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○アンケート集計33名 ・子ども達の興味と発達段階を踏まえて遊びを考えていきたい。 ・目的を明確にして遊びを考える大切さに改めて気付いた。 ・何気なく取り組んでいた遊びでも、全てに目的があることを学んだ。 <p>場所：真田中央公民館</p>

<p>第5回 11月22日</p>	<p>連続研修③【ライスステージを通じて大切にしておきたい支援の視点 ～支援者が大切にしたいこと、保護者支援の方法について～】 (発達相談センターとタイアップ) 国立重度知的障害者総合施設のぞみの園 日詰正文 氏 参加者：51名(会場31名 オンライン20名)</p> <p>○アンケート17名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小さい頃からのサポート、将来まで広い視野を持つことの大切さを学んだ ・理解される仲間や支援者と出会うことで、その人の人生が大きく変わることを学んだ ・個別性、多様性を重視する社会へシフトしている段階で、発達障がいの方々を取り巻く環境や制度が変化し続けていることを学んだ <p style="text-align: right;">場所：上田市マルチメディア情報センター</p>
<p>第6回 2月8日</p>	<p>今年度のまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連続研修の振り返り ・『児童の福祉サービスのご案内』見直し版の確認 ・障がい児支援に関わる課題の共有(今後に向けて) <p>○不登校児童の相談が増え続けている。教育関係者との連携は必須になっていく</p> <p>○病院でのリハビリを受ける機会が減っているため、放課後等デイサービスにリハビリの延長を求めるような相談も増えている</p> <p style="text-align: right;">場所：ふれあい福祉センター</p>

<p>考察 ・ 次年度に 向けて</p>	<p>令和3年度に児童支援事業所全体に向けてアンケートをし、その内容から質の向上を目的に連続研修を実施しました。知識を得る機会と共に、支援者間の横のつながりができました。今後は事業所ごとに専門職が巡回訪問することが可能であれば、より具体的に現場で実践していくことが質の向上に繋がると考えられます。</p>
----------------------------------	--

<p>参加機関</p>	<p>行政機関</p>	<p>上田市障がい者支援課 上田市真田市民サービス課 上田市丸子市民サービス課 上田市武石市民サービス課 東御市福祉課 長和町町民福祉課 青木村住民福祉課 上田市発達相談センター</p>
	<p>部会長</p>	<p>上田市障がい者支援課係長</p>
	<p>事務局</p>	<p>上小圏域基幹相談支援センター</p>

令和4年度 上小圏域障がい者自立支援協議会

人材育成専門部会 年度報告

テーマ	① 主任相談支援専門員の機能と役割についての共有と実践 ② 相談支援専門員の圏域内 OJT 体制の構築と検証・評価の実戦
上小圏域第6期障害福祉計画 重点施策の該当項目	主任相談支援専門員の配置を促進するとともに、圏域内でのOJTの体制整備を図ります。

開催予定

4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月

回/日付	内容/場所
第1回 5月18日	① 令和4年度 人材育成専門部会 年間計画の検討および部会員の紹介 ② 令和4年度 長野県相談支援従事者研修 研修内容及び実習体制について →昨年度同様、コロナ対策のためオンライン開催（実習は対面を予定） ③ 相談支援 OJT 体制整備事業について（昨年度の振り返りと今年度の実施計画検討） →昨年度思考的に実践したが、今年度は実践と合わせて質の向上をどのように評価するか？ 場所：上田市ふれあい福祉センター 2階 市民ホール
第2回 7月28日	① 令和4年度 長野県相談支援従事者初任者研修 研修内容及び実習体制について →報告別紙 ② 相談支援 OJT 体制整備事業 実施および検証・評価について →実施方法は昨年度と同様（全事業所対象：1事業所1事例） スーパービジョンの一連の流れを実施すること（事前打ち合わせ・GSV・アイディア実践・報告）をルール化 →質の評価については、相談支援専門員の学びと気づきから行動変容を評価していくこと（振り返りシートの活用） ③ 令和4年度 長野県相談支援従事者主任研修 圏域推薦者 検討 場所：上田市ふれあい福祉センター 2階 市民ホール
第3回 10月19日	令和4年度 長野県相談支援従事者初任者研修 振り返り 令和4年度 長野県相談支援従事者現任研修 研修内容及び実習体制について 相談支援 OJT 体制整備事業 中間評価 場所：上田市ふれあい福祉センター 2階 市民ホール
第4回 2月17日	令和4年度 長野県相談支援従事者現任研修 研修内容及び実習体制について（振り返り） 令和4年度 相談支援 OJT 体制整備事業 実施評価（振り返り） 令和4年度 人材育成専門部会 振り返り 場所：上田市ふれあい福祉センター 2階 市民ホール
R4.9月～ R5.2月	相談支援 OJT 体制整備事業（GSV）実施（月1回開催） 第1回 令和4年9月21日 9:30～11:30 第2回 令和4年10月11日 9:30～12:00 第3回 令和4年11月16日 9:30～12:00 第4回 令和4年12月14日 9:30～12:00 第5回 令和5年2月15日 9:30～12:00（1月予定を変更） 場所：上田市ふれあい福祉センター会議室 ・ 上田市役所会議室 ・ 東御市役所会議室 上田市丸子ふれあいステーション会議室 他

<p>考察 ・ 次年度に 向けて</p>	<p>・今年度、特定相談支援事業所の主任相談支援専門員が全員部会員として参加いただくことが出来た。法定研修については、新カリキュラム導入時より上小圏域における実習体制を地域の OJT と連動する目的で作り上げてきているため、例年通り実施が出来た。新型コロナウイルス感染対策のため会場予約等苦慮した箇所はあったが、演習内容と連動させた実習対応が出来たと評価する。</p> <p>・相談支援 OJT 体制整備は実践 2 年目を終え、徐々に地域に定着しつつある。また機能強化型事業所が月 1 回の GSV を実施していることから多くの相談員に対するバイザー養成も兼ねて実践出来てきており、スーパービジョンの質も前年度より向上した印象を受けた。参加者も昨年度より増加してきている一方、一度も参加しない事業所（昨年度と同様）があることは課題である。2 年通して実践は出来たものの、実施するための調整（人員・会場・欠席者対応等含め）の事務量の多さの課題や質の向上に向けた評価をいかに実施していくか、また事例提供者に限らず全相談支援専門員のサービス等利用計画の評価を次年度課題としていきたい。</p>
----------------------------------	---

<p>参加機関</p>	<p>福祉事業所</p>	<p>主任相談支援専門員 4名（やすらぎ・ほっと・ムネマル・つつじ） 相談支援専門員 1名（シャイン）</p>
	<p>行政機関</p>	<p>上田市障がい者支援課 東御市福祉課 長和町町民福祉課 青木村住民福祉課</p>
	<p>部会長</p>	<p>丸子地域自治センター市民サービス課 係長</p>
	<p>事務局</p>	<p>上小圏域基幹相談支援センター</p>

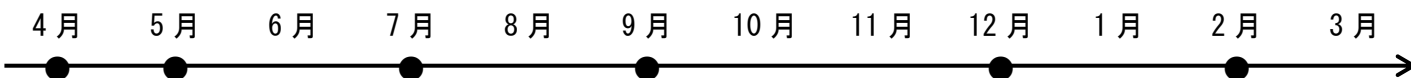
運営委員会 中間報告

テーマ	<ul style="list-style-type: none"> ① 上小圏域障がい者自立支援協議会・本会運営及び各委員会の運営 ② 第6期障害福祉計画/第2期障害児福祉計画の進捗管理 ③ 各委員会・専門部会からの課題検討の整理と検討 ④ 長野県自立支援協議会との連動 ⑤ 日中支援型グループホームの評価の実施 ⑥ コロナ禍・災害支援含めた業務継続計画（BCP）の経過措置前年での計画作成の推進（個別避難計画の作成について検討含む） ⑦ 長野県引きこもり支援（地域福祉課）の市町村・圏域プラットホームの検討
-----	--

上小圏域第6期障害福祉計画 重点施策の該当項目

- 緊急時支援台帳整備の推進と感染症対策にも対応できる地域生活支援拠点の機能強化を図ります。
- 地域包括エリアごとに協議検討を積み上げ、多職種及び地域住民の連携システムを構築します。
- 主任相談支援専門員の配置を促進するとともに、圏域内でのOJTの体制整備を図ります。

開催予定

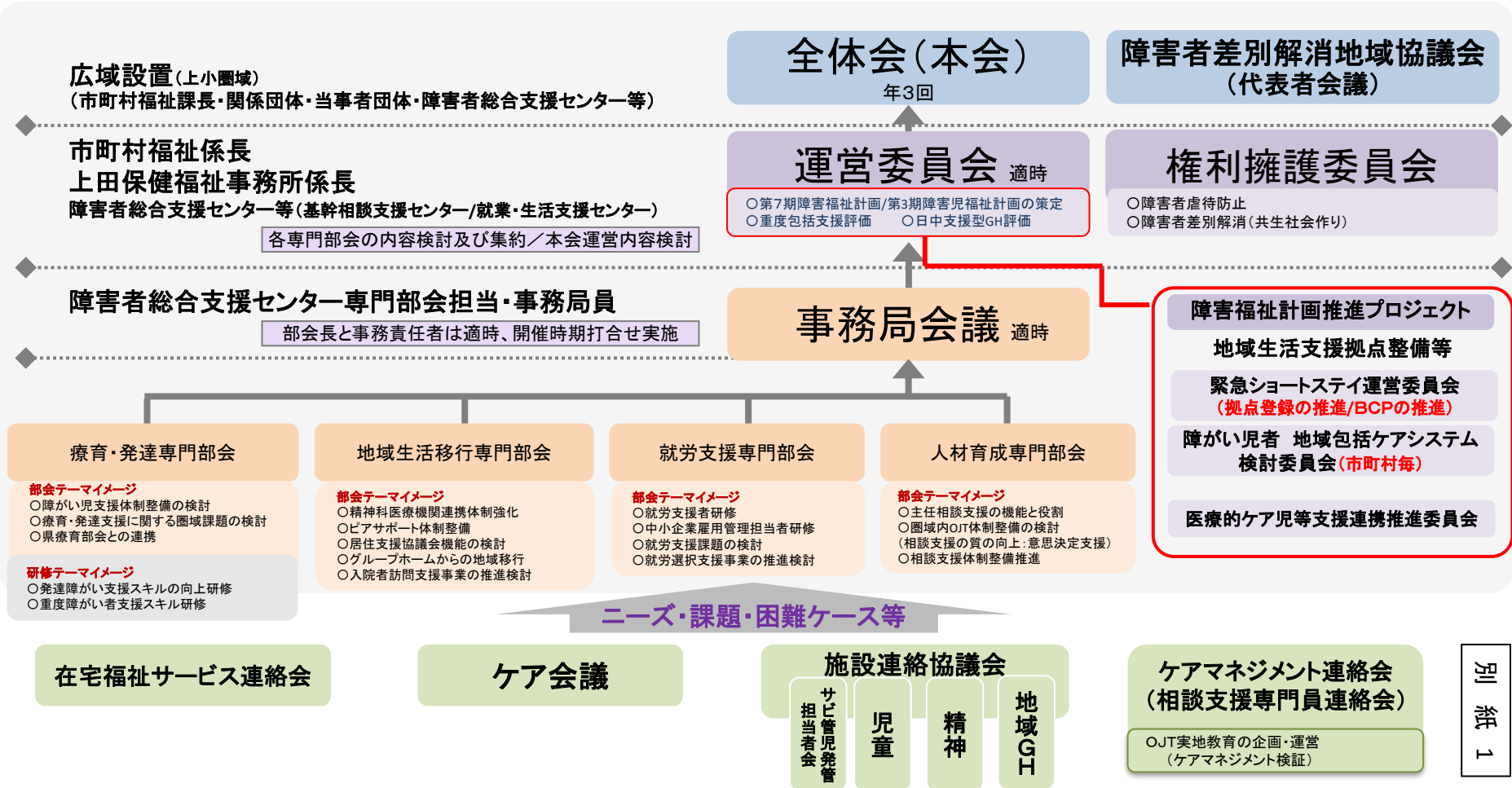


回/日付	内容/場所
第1回 4月25日	令和4年度 運営委員会及び地域生活支援拠点プロジェクト事業計画の検討 ① 令和4年度 運営委員会の役割分担について ② 第45回 本会の運営について ③ 令和4年度運営委員会並びに本会の開催日程の調整 場所：上田市ふれあい福祉センター
第2回 5月17日	第45回 上小圏域障がい者自立支援協議会 本会内容の検討 ① 日中支援型グループホームの評価について 場所：上田市ふれあい福祉センター
第3回 7月19日	第6期障害福祉計画・第2期障害児福祉計画の進捗管理と推進検討 長野県自立支援協議会 本会報告 場所：上田市ふれあい福祉センター
第4回 9月30日	第46回 上小圏域障がい者自立支援協議会 本会内容の検討 場所：上田市ふれあい福祉センター
第5回 12月20日	第46回 上小圏域障がい者自立支援協議会 本会の振り返り 第6期障害福祉計画・第2期障害児福祉計画の進捗管理と推進検討 場所：上田市ふれあい福祉センター
第6回 2月22日	第47回 上小圏域障がい者自立支援協議会 本会内容の検討 令和3年度 運営委員会の振り返り 場所：上田市ふれあい福祉センター

<p>考察 ・ 来年度に 向けて</p>	<p>①コロナ禍においても、オンライン会議等を活用して、各委員会・各専門部会が運営され、年3回の本会を開催することが出来た。次年度の新たな協議会の委員構成や組織体制については、運営委員会での検討を進め、次年度の本会への報告を予定する。</p> <p>②第6期障害福祉計画/第2期障がい児福祉計画の進捗確認と推進を継続して来たが、次年度は第7期障害福祉計画/第3期障がい児福祉計画の昨年度であり、今期の計画の進捗と課題を集約しながら、次の計画へ反映して行く予定である。</p> <p>③本会において、各委員会・各専門部会が本会委員や地域に向けてのプレゼン資料を作成し、わかりやすく検討内容を報告を頂くことが出来た。</p> <p>④長野県自立支援協議会での報告は適時、運営委員会内でも共有し、相談支援機能強化会議においては、基幹センターに運営委員が集合し、上小圏域の協議会への情報収集と確認に努めた。</p> <p>⑤日中支援型グループホーム評価システムを本年度構築し、本会で方向を実施した。令和4年度スタートの事業のため、令和5年度より評価を運営委員会で実施していく予定である。</p> <p>⑥次年度の義務化に向けて、業務継続計画(BCP)の情報を共有し、特に在宅生活されている障がい者の個別避難誘導計画作成の前段階として、基幹相談支援センターのBCPと地域の相談支援事業所との連携体制の構築に向けて、情報共有をした。次年度は、全サービス事業のBCPの推進に向けて、特に相談支援事業の連携体制を意識したBCPの作成を推進していく予定である。</p> <p>⑦ひきこもり支援やヤングケアラーといった、積み残しの支援体制の整備として、上小圏域内のプラットフォームをそれぞれ市町村毎に検討していく必要性を確認した。次年度は市町村における地域福祉計画や新たに検討する障害福祉計画の検討でも意識した議論を続けていければと考えている。</p>
----------------------------------	--

参加機関	福祉事業所	上田市障がい者支援課 上田市丸子市民サービス課 上田市真田市民サービス課 東御市福祉課 長和町町民福祉課 青木村住民福祉課	福祉係長 2名 福祉係長 福祉係長 福祉係長 福祉係長 福祉係長
	委員長	長野県上田保健福祉事務所	福祉係長
	事務局	上小圏域基幹相談支援センター	

【2023年度 上小圏域障がい者自立支援協議会組織図 (R5年度案)】



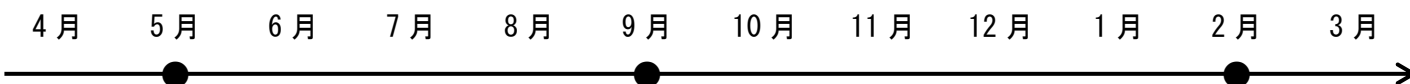
令和4年度 上小圏域障がい者自立支援協議会

緊急ショートステイ運営委員会

相談支援体制整備検討委員会 年度報告

テーマ	① 緊急ショートステイ運営委員会の開催による事業評価と検討及び本会実績報告 ② 障害児相談支援体制の充実（障がい児相談事業の基盤整備） ③ 上小地域施設連絡協議会を通じて、地域生活支援拠点への5つの機能の登録の推進
上小圏域第6期障害福祉計画 重点施策の該当項目	○緊急時支援台帳整備の推進と感染症対策にも対応できる地域生活支援拠点の機能強化を図ります。 ○主任相談支援専門員の配置を促進するとともに、圏域内でのOJTの体制整備を図ります。

開催予定



回/日付	内容/場所
第1回 5月16日	令和4年度 緊急ショートステイ運営委員会・相談支援体制検討委員会の事業計画の検討 令和3年度 緊急ショートステイ運営事業実績の集約と課題検討 場所：上田市役所 2F 会議室、オンライン
第2回 (調整中)	障がい児相談支援体制の基盤整備の推進説明 (上小地域施設連絡協議会 代表者会議での提案) 場所：未定
第3回 10月	令和4年度地域生活支援拠点（緊急ショートステイ運営委員会）の中間報告（書面） 場所：情報収集と集約
第4回 2月末集計	令和4年度地域生活支援拠点（緊急ショートステイ運営委員会）の中間報告 場所：情報収集と集約

考察 ・ 次年度に 向けて	① 入所施設内でのコロナ感染拡大など、リスクを伴う会議となり、1年を通じて緊急ショートステイ運営委員会は、オンライン会議のみでしか開催は出来なかった。 ② 障害児相談支援体制の充実に向けた基盤整備は、共同連携モデルに伴う事業指定や新たな事業所の指定など、徐々に出会いはあるが進めている状況である。質の向上に向けては、療育・発達部会での研修に参加頂くなど、基盤整備とともに推進している状況である。 ③ 地域生活支援拠点の整備は、やはり緊急ショートステイ運営委員会など、圏域内の事業所の管理者の理解と推進へのご協力が重要であるが、推進のための委員会や上小地域施設連絡協議会など含め、管理者の集まりも全てオンライン会議での情報提供程度にとどまり、大きな推進への検討がなされなかった。次年度は、体制整備への検討を再開して行く予定としたい。
------------------------	---

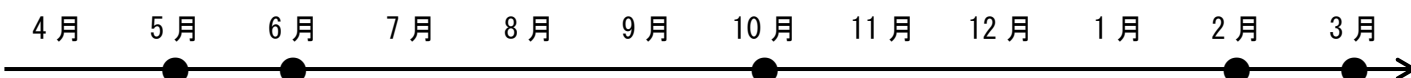
	<p>実績報告</p> <p>○上田市定住自立圏ビジョンの令和 8 年度までの目標値 400 件に向けて、進捗管理含め定住自立圏ビジョンへの整備状況の報告となったが、コロナ禍において対面での議論を重ねることが出来ず、台帳作成への意識が薄らいている状況にあり、次年度は対面での検討を再開したいと考えている。</p> <p>○主任相談支援専門員の配置と圏域の 0JT 体制については、かなりの成果を上げている。詳細は、人材育成専門部会報告より。</p>
--	---

参加機関	福祉事業所	拠点委託法人の代表者（理事長・施設長・事業所責任者など） 指定一般相談支援事業所の管理者・相談支援専門員 地域生活支援拠点登録指定特定相談支援事業所の管理者・相談支援専門員 地域生活支援拠点・契約法人の事務長または担当者
	行政機関	東御市障害福祉課係長、長和町町民福祉課係長、 青木村住民福祉課係長、長野県上田保健福祉事務所福祉課
	委員会長	上田市障がい者支援課係長
	事務局	上小圏域基幹相談支援センター

障がい者地域包括ケアシステム検討委員会 年度報告

テーマ	① 市町村包括エリア毎の連携強化に向け、全体会の開催（ミニ学習会含む） ② 包括支援センター毎の障がい児者の相談支援・市町村担当者との個別ケース会議開催 ③ 地域住民との連携するための取り組みの模索 ④ 65歳移行期障がい者の説明の推進（60歳～65歳以降リストの作成）
上小圏域第6期障害福祉計画 重点施策の該当項目	地域包括エリアごとに協議検討を積み上げ、多職種及び地域住民の連携システムを構築します。

開催予定



回/日付	内容/場所
第1回 5月23日	上田市障がい児者地域包括ケアシステム検討委員会（全体会議） 場所：上田市役所
第7回 開催	東御市障がい児者地域包括ケアシステム検討委員会（全体会議） 5月18日 7月29日 9月14日 10月27日 11月22日 12月22日 1月26日 （内容：打合せ・役員会・事業所連絡会・研修会場所：東御市役所）
第1回 6月6日	長和町障がい児者地域包括ケアシステム検討委員会（全体会議） 障がい福祉ネットワーク会議 場所：長和町役場
2月27日	青木村障がい児者地域包括ケアシステム検討委員会（全体会議） 場所：青木村役場
第2回 10月19日	上田市障がい児者地域包括ケアシステム検討委員会（全体会議） ミニ学習会 （1）介護分野の連携 ア. 地域包括支援センターとケアマネの連携状況 イ. 地域連携（民生児童委員や自治会）の状況 （2）障害福祉サービス・介護保険移行時の障害福祉サービス併用等ケースの概要とケアプランによるサービス決定事例 （3）地域包括支援センター・基幹相談支援センター・障がい者支援課とのグループワーク（前半の説明テーマに沿った情報交換） 場所：上田市役所
第6回 3月24日 予定	上田市障がい児者地域包括ケアシステム検討委員会（全体会議） （別紙 各市町村包括支援センターにおける活動報告参照） 場所：上田市西部公民館
随時開催	地域包括ケアエリアでの地域ケア会議 場所：地域包括ケアエリア会場

<p>考察 ・ 次年度に 向けて</p>	<p>① 各市町村毎の計画に基づき会議の開催を実施した。上田市においては、10 包括の全体会（年 3 回）の実施を対面で行うことが出来た。</p> <p>② 介護保険移行予定者や介護保険と障害福祉サービスの併用利用する個別ケースの共有は、それぞれ包括エリア毎に実施出来た。※成果状況については、次回本会において別紙にて詳細報告予定。</p> <p>③ 地域住民との連携については、権利擁護部会においてのモッシュ（長和町）での報告や、個別ケースでの実践を実施中である。</p> <p>④ ②の包括エリア毎の年度初めの顔合わせにおいて、移行者リストも含め一年間の介護保険と障害福祉の連携に努めている。やはり、それぞれの人事異動など、毎年繰り返して行くことが連携のするための大きなシステムである。次年度も、同様に実施予定とする。</p> <p>※ コロナ禍での 3 年を過ぎ、この間に居宅介護事業所（ケアマネジャー）との連携会議等が開けておらず、次年度は学習会などを予定できればと考えている。</p>
----------------------------------	---

参加機関	相談支援事業所	相談支援専門員
	地域包括支援センター	主任介護支援専門員または社会福祉士
	居宅介護事業所	管理者または介護支援専門員
	行政機関	長野県上田保健福祉事務所福祉課 市町村障害福祉係長及び推進担当者 市町村健康推進課保健師
	社会福祉協議会	事業計画やスケジュールに応じて適時参加依頼
	児童分野	事業計画やスケジュールに応じて適時参加依頼
	委員長	各市町村 福祉係長
	事務局	上小圏域基幹相談支援センター

令和4年度 上小圏域障がい児者地域包括ケアシステム(地域連携会議・個別支援会議等)記録簿

	日時 場所・時間	実施目的(打合せ・地域ケア会議・個別支援会議等)	参加者(参加機関)	実施内容記録
中央包括	R4.5.20 オンライン 13:30~14:20	サービス担当者会議 (69歳 独居 精神障害)	<ul style="list-style-type: none"> ご家族 高齢者介護課 中央地域包括支援センター サービス提供事業所 介護支援専門員 障がい者支援課 基幹相談支援センター 	<ul style="list-style-type: none"> サービスの利用状況および生活状況について共有 ご家族からの情報提供 今後の支援について
	R4.6.7 ご自宅 15:00~16:00	ケア会議 (高齢の母親と2人暮らし、サービス利用等特に無し。50代後半男性 精神障害)	<ul style="list-style-type: none"> ご本人 母親 中央地域包括支援センター 基幹相談支援センター 	<ul style="list-style-type: none"> 母親のサービスの利用状況および生活状況について ご本人の生活状況について 母親の将来への不安聞き取りなど
	R4.9.28 14:00~15:00 中央包括支援センター	地域包括ケア会議	<ul style="list-style-type: none"> 中央包括支援センター 障害者支援課 基幹相談支援センター 	<ul style="list-style-type: none"> リストの提供と情報共有 地域の課題について検討 今後の連携、会議の持ち方について →次回は事例検討を行う予定
	R4.10.4(火) 自宅 15:00~16:00	ケア会議 (高齢の母親と2人暮らし、サービス利用等特に無し。50代後半男性 精神障害)	<ul style="list-style-type: none"> ご本人 母親 中央地域包括支援センター 基幹相談支援センター 	<ul style="list-style-type: none"> 母親のサービスの利用状況および生活状況について ご本人の生活状況について 母親の将来への不安聞き取りなど
	R4.9.28(水) 上田市ふれあい福祉センター 団体会議室 10:00~11:00	打ち合わせ①	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者介護課 中央包括支援センター 西部包括支援センター 基幹相談支援センター 	<ul style="list-style-type: none"> 学習会について
	R5.1.12(木) 上田市ふれあい福祉センター 団体会議室 15:00~16:00	打ち合わせ②	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者介護課 中央包括支援センター 西部包括支援センター 基幹相談支援センター 	<ul style="list-style-type: none"> 学習会について
	R5.1.16(月) 上田市中央公民館大会議室 14:00~15:30	中央包括・西部包括 合同地域ケア会議	<ul style="list-style-type: none"> 介護保険居宅支援事業所 障がい者相談支援事業所 高齢者介護課 中央包括支援センター 西部包括支援センター 基幹相談支援センター 	<ul style="list-style-type: none"> 『障がい福祉サービスから介護保険サービスへ移行したケースをもとに、より良い連携について考える』 事例報告 グループワーク
西部包括	R4.7.26 10:00~	リストの提供と情報共有	<ul style="list-style-type: none"> 西部地域包括支援センター 障がい者支援課 基幹相談支援センター 	<ul style="list-style-type: none"> 60歳~65歳のリストの共有 地域の課題の共有 今後の連携の具体的な提案の共有
	R4.7.8(金) 自宅 11:30~12:30	自宅訪問 (親:介護) (子:障害(2号の見込み))	<ul style="list-style-type: none"> 西部地域包括支援センター 基幹相談支援センター 	<ul style="list-style-type: none"> 進行中の住宅改修に伴う相談
	R4.7.26(火) 丸子地域自治センター 10:00~11:30	リストの提供と情報共有	<ul style="list-style-type: none"> 西部地域包括支援センター 障がい者支援課 基幹相談支援センター 	<ul style="list-style-type: none"> 60歳~65歳のリストの共有 地域の課題の共有 今後の連携の具体的な提案の共有
	R4.10.25(火) オンライン 14:00~15:30	ケアカンファレンス (親:介護(要支援)) (子:障害(2号被保険者:要介護4))	<ul style="list-style-type: none"> 母 入院医療機関 (Dr.MSW.NS.OT.ST.PT) 相談支援専門員 サービス提供事業所 西部包括支援センター 上田市障がい者支援課 基幹相談支援センター 	<ul style="list-style-type: none"> 2号被保険者となった子の発症から現状の共有 退院に向けた検討 各所手続き等
	R4.12.21(水) 入院医療機関 10:00~12:00	ケアカンファレンス (親:介護(要支援)) (子:障害(2号被保険者:要介護4))	<ul style="list-style-type: none"> 入院医療機関 (MSW.NS.OT) 相談支援専門員 西部包括支援センター (書面にて参加) 上田市障がい者支援課 基幹相談支援センター 	<ul style="list-style-type: none"> 2号被保険者となった子の発症から現状の共有 退院に向けた検討 各所手続き等

	R5.1.13(金) オンライン 13:00～14:30	ケアカンファレンス (親:介護(要支援)) (子:障害(2号被保険者:要介護4))	<ul style="list-style-type: none"> ・入院医療機関(MSW,OT) ・相談支援専門員 ・介護支援専門員 ・西部包括支援センター(書面にて参加) ・上田市障がい者支援課 ・基幹相談支援センター 	<ul style="list-style-type: none"> ・2号被保険者となった子の発症から現状の共有 ・退院に向けた具体的な各所の役割の共有 ・介護保険及び総合支援法の併用支給による合意
	R5.3.3(金) オンライン 13:00～14:30 (予定)	ケアカンファレンス (親:介護(要支援)) (子:障害(2号被保険者:要介護4))	<ul style="list-style-type: none"> ・母 ・入院医療機関(MSW,OT) ・相談支援専門員 ・介護支援専門員 ・サービス提供事業所(介護2箇所、障害1箇所) ・西部包括支援センター ・上田市障がい者支援課 ・基幹相談支援センター 	<ul style="list-style-type: none"> ・退院に向けたサービス確認および各所の顔合わせ ・退院時の詳細確認
神川包括	R4.6.29 ふれあい福祉センター 10:00～11:00	個別支援会議 (母・介護保険、子・療育手帳所持、引きこもり)	<ul style="list-style-type: none"> ・神川包括支援センター ・上田市障がい者支援課 ・母のヘルパー事業所 ・まいさぼ ・基幹センター 	<ul style="list-style-type: none"> ・親子の現状確認。 ・今後の支援方法の確認(ヘルパー事業所の変更についての情報共有)
	R4.7.20 神川包括支援センター 10:00～11:30	個別支援会議 (母・介護保険、子・介護保険と障がい福祉サービスの併用)	<ul style="list-style-type: none"> ・上田市市障がい者支援課 ・神川地区包括支援センター ・母のケアマネ ・子のケアマネ ・基幹センター ・子の通所事業所 ・保佐人 	<ul style="list-style-type: none"> ・親子の現状確認及びプランの共有。 ・今後の支援の検討
	R4.7.29 神川包括センター 14:00～16:00	地域ケア会議	<ul style="list-style-type: none"> ・神川包括支援センター ・上田市障がい者支援課 ・基幹センター 	<ul style="list-style-type: none"> ・60歳以上のリストの共有 ・包括支援センターより障がい担当に知っておいてもらいたいケースの共有 ・課題の共有(高齢者担当と障がい児・者担当のすり合わせの必要性、神川地区の課題確認)
	R5.3.7(火) 上田市ふれあい福祉センター 13:30～15:00	個別支援会議 (母・介護保険) (子・介護保険と障がい福祉サービスの併用)	<ul style="list-style-type: none"> ・神川地区包括支援センター ・子:介護支援専門員 ・基幹相談支援センター ・保佐人 	<ul style="list-style-type: none"> ・親子の現状共有。 ・母が帰宅できない可能性があり、子の一人暮らしに向けての話し合い。
神科包括	R4.7.29(金) 13:30～15:00 上田市役所	リストの提供と共有	<ul style="list-style-type: none"> ・神科包括支援センター ・上田市障がい者支援課 ・基幹相談支援センター 	<ul style="list-style-type: none"> ・60歳から65歳リストの提供と共有 ・地域の課題について ・今後の連携についての意見要望等
	R4.12.15(木) ひとまち元気プラザ 12:30～13:30	個別支援会議 (母・介護保険) (子・障がい福祉サービス・アルコール依存)	<ul style="list-style-type: none"> ・上田市障がい者支援課 ・上田市健康推進課 ・信州上田医療センターPSW ・神科包括支援センター ・基幹相談支援センター 	<ul style="list-style-type: none"> ・親子の現状確認、共有 ・今後の支援と役割分担
城下包括	R4.9.16(金) 城下地域包括支援センター 10:00～11:00	打ち合わせ等	<ul style="list-style-type: none"> ・城下地域包括支援センター ・高齢者介護課担当者 ・障がい者支援課担当者 ・基幹相談支援センター 	<ul style="list-style-type: none"> ・顔合わせ ・介護保険移行対象者リストの共有 ・リストに無い方、気になるお宅の共有 ・次回会議について
	R5.2.17(金) 城下地域包括支援センター 9:30～10:30	地域ケア会議	<ul style="list-style-type: none"> ・城下地域包括支援センター ・高齢者介護課担当者 ・障がい者支援課担当者 ・相談支援事業所(2事業所) ・基幹相談支援センター 	<ul style="list-style-type: none"> ・65歳を控える方のリスト共有 ・2名の具体的な移行モデル検討 ・その他気になる方の共有
川西包括	R4.7.29 14:00～ 川西地域包括支援センター	地域ケア会議	<ul style="list-style-type: none"> ・川西地域包括支援センター ・上田市障がい者支援課 ・基幹相談支援センター 	<ul style="list-style-type: none"> ・60歳～65歳のリストの共有 ・地域の課題の共有 ・今後の連携の具体的な提案の共有
	R4.12.7(水) 川西地域包括支援センター 15:00～16:00	打合せ	<ul style="list-style-type: none"> ・川西地域包括支援センター ・上田しいのみ園 ・上田市障がい者支援課 ・上田市高齢者介護課 ・基幹相談支援センター 	<ul style="list-style-type: none"> ・介護サービスと障がいサービスの連携推進研修会(仮称)の実施についてコアメンバー会議として行う。 ・研修会 1月26日10時～ 川西地域自治センター ・今回は1月13日の予定

塩田 包括	R4.9.15 塩田地域包括支援センター 14:00～15:30	打ち合わせ	・塩田地域包括支援センター ・障がい者支援課 ・高齢者介護課 ・基幹相談支援センター	・顔合わせ ・介護保険移行対象者リストの共有 (60歳以上) ・次回内容について検討
	R4.6.23 塩田地域自治センター 14:00～15:00	個別支援会議 (70代独居サービス利用特に無し 精神障害)	・ご本人 ・健康推進課 ・塩田地域包括支援センター ・基幹相談支援センター	・担当者顔合わせ ・最近の生活状況について ・今後について
	R4.9.1 塩田地域自治センター 14:00～15:00	個別支援会議 (70代独居サービス利用特に無し 精神障害)	・ご本人 ・健康推進課 ・高齢者介護課 ・基幹相談支援センター	・担当者顔合わせ ・最近の生活状況について ・今後について
	R4.12.1(木) 塩田地域自治センター 14:00～15:00	個別支援会議 (70代独居サービス利用特に無し 精神障害)	・ご本人 ・高齢者介護課 ・基幹相談支援センター	・最近の生活状況について ・今後について
	R4.12.12 塩田地域 包括支援センター 14:00～15:00	地域ケア会議	・塩田地域包括支援センター ・障がい者支援課 ・高齢者介護課 ・相談支援事業所(3事業所) ・基幹相談支援センター	・介護保険移行対象者リストの共有 ・介護、障がいそれぞれのサービスに ついての疑問点について ・障がい福祉サービスから介護保険移 行委の疑問点について
真田 包括	R4.9.16 真田自治センター 9:30～11:30	地域ケア会議	・真田自治センター高齢者担当 ・障がい者担当 ・真田地区包括支援センター ・基幹相談支援センター	・60歳以上のリストの共有 ・真田地区の課題の共有 ・今後の連携について
	R4.11.28(月) 受診医療機関 13:30～15:00	個別支援会議 (父、入院中。 退院後介護保険のヘルパー利用 予定。 子、引きこもり、精神疾患あり、妄 想、攻撃性あり。)	・真田自治センター障がい担当 ・真田地区包括支援センター ・父:介護支援専門員 ・父:訪問看護事業所 ・受診病院PSW ・子:訪問看護事業所 ・基幹相談支援センター	・親子の現状共有と父退院後の生活 及びサービス調整について
丸子 包括	R4.4.21 オンライン 15:30～17:00	個別支援会議 (母:介護保険) (子:障がい福祉サービス)	・丸子包括支援センター ・丸子自治センター高齢者担当保 健師 ・丸子保健センター栄養士 ・母のヘルパー事業所 ・基幹センター	・家族情報の共有と今後の母の支援 についての確認
	R4.5.30 ふれあい福祉センター 14時半～16時	個別支援会議 (母:介護保険) (子:障がい福祉サービス)	・丸子包括支援センター ・丸子自治センター市民サービス課 障がい担当 ・母のヘルパー事業所 ・子の福祉サービス事業所 ・基幹センター	・子のサービス等利用計画の更新会 議及び、家族間の情報共有
	R4.6.24 オンライン 14:30～15:30	個別支援会議 (両親:介護保険) (子:障がい)	【両親】 ・丸子地域包括支援センター ・訪問看護ステーション ・丸子地域自治センター (高齢者担当係長) 【子】 ・医療機関(通院・リハ) ・丸子地域自治センター (障がい担当) ・基幹相談支援センター	・家族情報の共有と支援状況の確認
	R4.7.20 丸子地域自治センター 14:00～15:30	地域ケア会議	・丸子地域包括支援センター ・武石地域包括支援センター ・丸子地域自治センター (障害担当係長) (高齢者担当係長) ・基幹相談支援センター	・63歳以上の障がい者リストの共有 ・R4年度 地域ケア会議の日程及び内 容検討
	R4.8.25 ふれあい福祉センター 14:30～16:00	個別支援会議 (母:介護保険) (子:障がい福祉サービス)	・丸子包括支援センター ・丸子自治センター市民サービス課 障がい担当 ・母のヘルパー事業所 ・子の福祉サービス事業所 ・基幹センター	・家族情報の共有と今後の支援につ いての確認

	R4.9.21(水) オンライン 14:30～15:30	個別支援会議 (両親:介護保険) (子:障がい)	【両親】 ・丸子地域包括支援センター ・訪問看護ステーション ・丸子地域自治センター (高齢者担当係長) 【子】 ・医療機関(通院・リハ) ・丸子地域自治センター (障がい担当) ・基幹相談支援センター	・家族情報の共有と支援状況の確認
	R4.11.29(火) 上田市ふれあい 福祉センター 14:30～16:00	個別支援会議 (母:介護保険) (子:障がい福祉サービス)	・丸子包括支援センター(当日緊急 対応で欠席、情報提供のみ) ・丸子自治センター市民サービス課 障がい担当 ・子の福祉サービス事業所 ・基幹センター	・家族情報の共有と今後の支援について の確認
	R5.12.21(水) オンライン 14:30～15:30	個別支援会議 (両親:介護保険) (子:障がい)	【両親】 ・丸子地域包括支援センター ・訪問看護ステーション ・丸子地域自治センター (高齢者担当係長) 【子】 ・医療機関(通院・リハ) ・丸子地域自治センター (障がい担当) ・基幹相談支援センター	・家族情報の共有と支援状況の確認
	R5.2.28(火) 上田市ふれあい 福祉センター 14:30～15:30	個別支援会議 (母:介護保険) (子:障がい福祉サービス)	・丸子包括支援センター(当日緊急 対応で欠席、メールでの情報提供 のみ) ・丸子自治センター市民サービス課 障がい担当 ・子の福祉サービス事業所 ・基幹センター	・家族情報の共有と今後の支援について の確認
武石 包括	R4.7.20 丸子地域自治センター 14:00～15:30	地域ケア会議	・丸子地域包括支援センター ・武石地域包括支援センター ・丸子地域自治センター (障害担当係長) (高齢者担当係長) ・基幹相談支援センター	・63歳以上の障がい者リストの共有 ・R4年度 地域ケア会議の日程及び内 容検討
	R4.12.14 丸子地域自治センター 13:30～15:00	地域ケア会議	・丸子地域包括支援センター ・武石地域包括支援センター ・丸子地域自治センター (障害担当係長) (高齢者担当係長) ・基幹相談支援センター	・63歳以上の障がい者リスト者の現状 確認 ・障がい福祉に関する制度勉強会
東 御 市	R4.5.18 東御市総合福祉センター 10:00～11:00	打ち合わせ	・福祉課高齢者係長 ・福祉課福祉援護係長 ・基幹相談支援センター	・高齢者の分野と障害福祉の分野で考 えている包括的な地域づくりについて のすり合わせ ・今後の進め方について
	R4.5.18 東御市総合福祉センター 16:00～17:30	東御市民間介護・福祉事業所連 絡会 役員会議	・連絡会役員 ・東御市地域包括支援センター ・福祉課高齢者係長および職員 ・福祉課福祉援護係長 ・基幹相談支援センター	・障がい福祉サービスを利用している 65歳を迎える方が介護サービスにス ムーズに移行できる仕組みづくりにつ いて説明 ・情報交換
	R4.9.14 東御市総合福祉センター 15:30～17:00	東御市民間介護・福祉事業所連 絡会 役員会議	・連絡会役員 ・東御市地域包括支援センター ・福祉課高齢者係長および職員 ・福祉課福祉援護係長 ・基幹相談支援センター	・研修会内容について
	R4.10.27(木) 東御市総合 支援センター 15:30～17:00	東御市民間介護・福祉事業所連 絡会 役員会議	・連絡会役員 ・東御市地域包括支援センター ・福祉課高齢者係長および職員 ・福祉課福祉援護係長 ・基幹相談支援センター	・11月実施予定の介護・福祉合同研修 の具体的内容の検討

	R4.11.22(火) 東御市総合福祉センター 13:30～15:00	東御市民間介護・福祉事業所連絡会 研修会	・東御市介護サービス提供事業所 ・東御市障がい福祉サービス提供事業所 ・連絡会役員 ・東御市地域包括支援センター ・福祉課高齢者係長および職員 ・福祉課福祉援護係長 ・基幹相談支援センター	・障がい福祉サービスから介護保険サービスへの移行について ・グループワーク
	R4.12.22(木) 東御市総合福祉センター 15:30～17:00	東御市民間介護・福祉事業所連絡会 役員会議	・連絡会役員 ・東御市地域包括支援センター ・福祉課高齢者係長および職員 ・福祉課福祉援護係長 ・基幹相談支援センター	・研修会の反省 ・今後の活動について
	R5.1.26(木) 東御市総合福祉センター 15:30～17:00	東御市民間介護・福祉事業所連絡会 役員会議	・連絡会役員 ・東御市地域包括支援センター ・福祉課高齢者係長および職員 ・福祉課福祉援護係長 ・基幹相談支援センター	
長和町	R4.6.6 長和町役場第3会議室 9:30～10:30	障がい福祉ネットワーク会議 ※毎月開催	・福祉課(課長、係長) ・サービス提供事業所 ・基幹相談支援センター	・障がい者等の情報交換 (主に気になる家庭、動きのある家庭) ・児童の情報共有について
青木村	R5.2.27(月) 青木村役場 10:30～12:00	青木村地域包括支援会議	・青木村役場住民福祉課 ・青木村役場保健師 ・基幹相談支援センター	・地域放血ケアシステムについて ・55歳以上リスト共有 ・次年度に向けて (災害時支援マップ等)

令和4年度 上田市10包括支援センターとの事前打ち合わせでの、今後に向けた課題・意見集約

- ・介護支援専門員のケアプランに障がい福祉サービスを導入したプラン作成のノウハウ
- ・災害時支援マップの共有（各分野ごとに存在しているが、共有されていない）
- ・フォーマル支援に当てはまらない地域支えあいの仕組み作り（雪かきなど）
- ・介護保険サービスと障がい福祉サービスのケアマネジメントにおける視点の相違（お互いのサービスを知るための学習会や懇談会の実施）
- ・地域の相談支援専門員と包括担当者、ケアマネが一同に集まれる場の設置。
- ・包括支援センターとして、毎月開催の民生児童委員会での連携は、かなり強化されており、民生児童委員は包括支援センターのスタッフの名前と顔が一致している。障害では、自治センターでの民生児童委員会担当で、会議出席は会っても本庁エリアの関わりが薄く、何らかの働きかけが必要と感じた基幹と包括の違いに、地域の人材育成を業務とする視点は、大きく違っている。
- ・包括支援センターで既存の「地域連携会議」などの場を活用して、ケアマネと相談支援専門員の事例を通じた学習会の開催。
- ・8050家庭の障がい者の顕在後の支援のあり方や対応に行き詰まりがある。
- ・民生児童委員の定例会への障がい者支援課及び基幹センター職員の参加の機会（改選時期などに合わせて）
- ・Wケアマネを行っている具体的な事例を通しての連携の仕方や会議の持ち方についての勉強会の実施

令和5年度に向けて、上田市10包括支援センターとの連携会議などの意見集約

- ・定例の会后保険移行者リストの確認と事前打ち合わせは、全ての包括支援センターで実施
- ・顔の見える関係作りから、各包括支援センター内において多職種連携による個別支援会議の開催が推進された。（実績、13回の個別支援会議の開催）
- ・包括支援センター同士の連携により、研修会（事例報告・グループ討議）などの学習会の展開があった。
- ・上田市においては、10包括エリアがあることから、全体会として年3回の対面での会議とグループによる意見交換の機会を実施することが出来た。
- ・介護保険移行者のWケアマネ（要介護認定の障害者）については、居宅介護事業所のケアマネジャーとの連携が必要であり、コロナ禍の明けの次年度は、ケアマネジャー連絡協議会との連携の在り方の検討や合同研修会がコロナ禍で延期となって来たことを踏まえ、開催の企画を検討していく。
- ・障害分野においては、居宅介護（家事支援）のサービス提供が、人材不足から調整が難しい地域が出始めている状況があるため、次年度は事業者実態を把握するアンケート調査を実施し、圏域状況を把握することで、第7期障害福祉計画へ反映したい。